

陽ニ曝露シテ乾燥シ次テ鐵鍋ニ入レ灼リテ殆ト黃色ヲ呈スルニ至レバ確ニテ搗碎シ細末トナシ殘渣ヲ去リ蒸桶ニ入レ蒸シテ袋ニ入レ確中ニ金輪ヲ置キ立棧ヲ嵌メ巨石ヲ以テ壓搾シ或ハ臺木ニ載セ之ニ衝ヲ穿チ尖木ヲ插ミ一齊ニ打撃シテ油分ヲ搾出シ後チ其油液ヲ細川半紙ヲ以テ濾過スルナリ

菜子油ヲ清淨ニナスニハ銅罐ニ入レ溫度ヲ節制シ三四時間徐々ニ煮沸シ石鹼狀ノ浮泡物ヲ生ズレハ火ヨリ下シテ之ヲ沈定シ其上澄液ヲ收集スルナリ或ハ粘土ノ十%ヲ加ヘ八九十度ノ溫度ニ熱シ後チ之ヲ沈定シ上澄液ヲ更ニ一週間日光ニ曝露シ濾過シテ精製ス

〔性状〕 類黃色透明ノ稍々流動シ易キ液體ニシテ0.913ノ比重ヲ有シ氣中ニ在テ乾燥セズ零下五度ニ至レバ凝固ス

〔成分〕 菜子油ノ主成分ハ「エルカ酸」(C₁₈H₃₄O₂)ニシテ其他「パルミチン酸」(C₁₆H₃₂O₂)等ノ「佩里設林依的兒」ヨリ組成セラル、モノナリ

〔來歴〕 製油録ニ據レバ延喜帝御宇ヨリ數年ヲ經ルノ後チ遠里小野村ノ某氏荏、胡麻油ヨリ更ニ菜子油ノ精ニシテ且ツ廉ナルヲ發明セシ以來他種ノ油ハ漸ク其用ヲ減シ遂ニ菜子油ヲシテ上位ヲ占ムルニ至リタルモノナリト云フ

〔應用〕 本邦ニテハ菜子油ヲ從來燈火用ニ供シタレモ當今ハ大ニ其需用ヲ減殺セリ然レモ尙ホ機械油トシ或ハ柔皮術、羊毛ノ織工及ヒ軟石鹼製造等ニ用キラル

菜子油ハ臭氣アリテ食料ニ供スルコト能ハサレモ若シ之ニ三乃至四%ノ澱粉ヲ和シ熱シテ其澱粉ノ焦爛スルニ至レバ火ヨリ下シ之ヲ沈定シテ得タル處ノ上澄液ヲ收集スレバ食料ニ供スルコトヲ得ルモノナリ

撒里矢爾酸 化學名 Salicylic acid. (化學記號) C₇H₆O₃

〔異名〕 楊酸別名 水楊酸

〔所在〕 撒里矢爾酸ハ植物界中ニ存在シ殊ニ冬綠 *Gaultheria procumbens*.

ノ油中及ビ珍珠花ノ一種 *Spiraea ulmaria* ノ花中ニ其多量ヲ含蓄ス

〔製法〕 昔時ハ冬綠油ニ苛性曹達ヲ加ヘ木酒精ヲ蒸餾シタル殘留物

ニ鹽酸ヲ加ヘ分解シテ製シタルニ當今ハ此酸ヲ人工法ニ由リ製造ス

其法ハ初メ石炭酸ニ苛性曹達ヲ加ヘ石炭酸曹達トナシ之ヲ百八十度

ニ熱シ同時ニ炭酸瓦斯ヲ通シテ撒里矢爾酸曹達ヲ造リ後ニ鹽酸ニテ

分解シ撒里矢爾酸ヲ析出セシメ之ヲ再三結晶シテ精製ス

〔性状〕 白色鉞狀ノ結晶或ハ結晶樣粗糙ノ粉末ニシテ酸味アリテ少

シク甘ク百五十六度ニテ溶解シ二百度ニテ沸騰セズシテ上昇ス冷水

ニハ溶解シ難ケレニ沸湯亞爾個保兒依的兒等ニ溶解シ其溶液ニ一半

鹽化鐵液ヲ加フルルハ桔梗色ヲ呈ス

日本藥局方曰 撒里矢爾酸ハ白色鉞狀ノ結晶或ハ輕鬆ノ結晶粉ヲナシ臭氣ナク

其味甘酸ニシテ稍々苛辣ナリ大約百六十度ニテ熔融シ大約六百分ノ水ニ溶ケ熱湯

酒精及依的兒ニ溶解シ易シ其水溶液ハ酸性ノ反應ヲ徵ス

〔來歴〕 撒里矢爾酸ハ一千八百三十九年、ピリア及ビエツトリングノ

兩氏ニヨリ發見セラレ其後、コルベ及ビラウテマン兩氏人工法ヲ以テ

石炭酸ヨリ之ヲ製造セリ

〔應用〕 撒里矢爾酸ハ防腐ノ効アルヲ以テ飲食物等ヲ保存スルノ目

的ニ賞用セラレ殊ニ酒類ニ配伍ス此酸ヲ含有スル酒類ヲ絶ヘズ飲

生肉或ハ魚肉ヲ數日間貯藏セント欲セバ水千分ニ撒里矢爾酸一分ヲ溶解シタル液

中ニ浸シ置キ調理ニ望ミ之ヲ取り出シ能ク洗ヒテ用フベシ又酢漬、砂糖漬ノ果實

中ニ此酸ノ少量ヲ添加スルハ腐敗ニ傾カズ永久貯蓄スルコトヲ得ルモノナリ

醋酸名化學 Acetic acid. [化學記號] $\text{C}_2\text{H}_4\text{O}_2$

〔所在〕 醋酸ハ酒類ノ腐敗スルトキニ化生シ或ハ木材ヲ乾餾シテ得
タル餾液中ニ含蓄ス

〔製法〕 醋酸ヲ製スルニハ木材ヲ乾餾シテ製シ或ハ亞爾個保兒ヲ含有スル液ヲ醱酵シテ製ス之ニ精粗アリ左ニ其製法ノ一斑ヲ掲ケントス

醋 *Vinegar*. 亞爾個保兒ノ大氣中ニ在テ酸化シ醋酸ニ變スルハ氣中ニ浮游スル醋菌 *Mycoderma aceti*. 此中ニ生育繁殖シテ酸素ヲ攝取シ爲メニ亞爾個保兒ヲ醋酸ニ變セシムルナリ之ヲ醋酸醱酵ト云フ而シテ醋ナルモノハ純粹ノ醋酸ニアラズシテ之ヲ主成分トシ他物ヲ含有ス是レ醋ヲ製スル原質純全タル亞爾個保兒ヲ用キザルニヨリ從テ他物ヲ其中ニ溶存スルナリ

本邦ノ食醋ハ酒粕ヲ再ヒ醱酵セシメテ製シ或ハ蒸米ニ白麴ヲ混和シテ製スルモノアリ今其一ヲ記スレバ蒸米一分ニ白麴三分ヲ和シ桶中ニ入レ清水一分半ヲ加ヘ靜置シ晴天ヲトシ一週間毎ニ之ヲ攪拌シ暖處ニ凡ソ十週間ヲ放置スルトキハ醋酸醱酵ヲ起シテ醋ニ變生ス依テ其殘渣ヲ去リ密閉シ貯フルナリ中ニ醋酸ノ三、六乃至四、二%ヲ含有シ之ヲ蒸餾シテ純精ノ醋酸ヲ製スルコトアリ

歐洲各國ニ於テ醋ヲ製スルノ法ハ亞爾個保兒一分ニ水六乃至八分及ビ〇、〇〇一分ノ醱酵性物質(麥芽越幾斯、蜜汁、馬鈴薯汁)ヲ混和シタル醋資ト稱スル亞爾個保兒液ヲ桶内ニ入レ三十度内外ノ温度ヲ保タシメ二週間ヲ放置スルトキハ醋資



ハ醋菌ノ爲メニ醱酵作用ヲ起シ醋酸ニ變スルヲ以テ之ヨリ醋酸ヲ製造ス而シテ醋資ノ醋酸ニ變スルニ當テハ大氣ノ面ニ觸ル、コト多ケレハ從テ變成シ易キガ故ニ通例上圖ノ如キナル大桶ヲ用フ此桶ハ底ヨリ一尺許上方ニ格子ヲ架シ之ニ醋酸ヲ浸漬シタル山毛櫸樹ノ鉋屑ヲ充タシ其上ニ無數ノ錐孔ヲ穿テル蓋板ヲ設ケ又桶側ニハ及ビ〇ノ數孔ヲ周圍ニ穿テ空氣ノ流通ヲ容易ナラシメタルモノナリ此裝置ニヨリ醋資ヲ醋ニ變成セシムルニハ先ツ醋資ヲ蓋板ヨリ漸々注入ス然ルトキハ液ハ錐孔ヨリ滴下シ鉋屑ニ當リ大氣ニ觸レ酸化シ鉋屑面ニハ漸次醋菌繁殖シ白皮ヲ被ル

ニ至リ醋資ハ醋酸ニ變ス由テ桶底ニ溜リタルモノハフスノ管ヨリB桶内ニ移シ更ニ其操作ヲ反覆スルトキハ遂ニ全ク醋ニ變スルモノナリ但シ此桶内ノ温度ハ三十二度内外ニ保タシムルコト肝要ナリトス

木醋酸 *Pyroigneous acid*. 燃料中木材ノ如キハ酸素ヲ多量ニ含有スルヲ以テ乾留スルトキハ醋酸ノ多量ヲ化生ス之ヲ木醋酸ト云フ該品ヲ製スルニハ鐵製「レトルト」中ニ木材ヲ入レ漸次温度ヲ高メ四百度内外ニ至ラシムレハ多量ニ瓦斯ヲ發生スルヲ以テ之ヲ冷却スベシ然ルトキハ液化スルヲ以テ器中ニ移シ靜定スレバ二層ニ分レ下層ハ木爹兒ニシテ上層ハ木醋酸ナリ若シ二層間ニ尙ホ一層ヲ存スレバ的列並底油ナルガ故ニ別ニ酌取スベク又木醋酸中ノ木酒精ヲ得ント欲セバ之ヲ蒸餾スベシ而シテ爰ニ得タル粗製木醋酸ハ専ラ氷醋酸ノ製造ニ用キラル

氷醋酸 *Glacial acetic acid*. 粗製木醋酸ニ消石灰ヲ加ヘ中和シ其液面ニ析出スル爹兒分ヲ酌去シ鑄鐵製ノ鍋ニ入レ蒸發乾涸シ更ニ二百三十乃至二百五十度ニ熱シ附着スル處ノ爹兒分ヲ分解發散セシメ之ヲ水ニ溶解シ濾過シテ濾液ヲ蒸發スレハ

醋酸石灰ヲ得ザルガ故ニ之ヲ「レールト」ニ入レ硫酸或ハ鹽酸ヲ加ヘ蒸餾スルトキハ醋酸ヲ溜出ス然レモ爰ニ得タルモノハ未タ焦臭ヲ有スルヲ以テ多クハ此醋酸石灰ニ硫酸曹達ヲ加ヘ一度醋酸曹達トナシ濾過シ濾液ヲ蒸發結晶シ得タルモノ十四分ニ硫酸十分ヲ加ヘ蒸餾シテ製スルモノナリ

〔性状〕 刺戟性ノ劇烈ナル酸臭アル無色透明ノ液體ニシテ酸味ヲ有シ比重ハ一・〇五五三ナリ沸騰點ハ百二十度ニシテ其無水物ハ十六度ノ温ニ於テ氷狀ニ凝結ス故ニ氷醋酸ノ名アリ水亞爾個保兒依的兒偈里設林揮發油等ニハ溶解スレモ硫化炭素ニハ溶解セズ又樹脂色素脂肪樟腦凝固蛋白等ヲ溶解スルノ性ヲ有シ之ヲ皮膚ニ點スレバ水泡ヲ生シ疼痛ヲ起ス

醋酸ハ能ク水ニ溶解シ其強度ハ醋酸ノ含量即チ比重ニ關係ス今比重ニ由テ醋酸ノ強度ヲ檢定セシ「ラーデマン」氏ノ表ニ由テ其比重ト%トノ比率ヲ示ス但シ檢定温度ハ十五度ナリ

醋酸ノ%	比 重	醋酸ノ%	比 重	醋酸ノ%	比 重	醋酸ノ%	比 重
1	1.0007	26	1.0363	51	1.0623	76	1.0747
2	1.0022	27	1.0375	52	1.0631	77	1.0748
3	1.0037	28	1.0388	53	1.0638	78	1.0748
4	1.0052	29	1.0400	54	1.0646	79	1.0748
5	1.0067	30	1.0412	55	1.0653	80	1.0748
6	1.0083	31	1.0424	56	1.0660	81	1.0747
7	1.0098	32	1.0436	57	1.0666	82	1.0746
8	1.0113	33	1.0447	58	1.0673	83	1.0744
9	1.0127	34	1.0459	59	1.0679	84	1.0742
10	1.0142	35	1.0470	60	1.0685	85	1.0739
11	1.0157	36	1.0481	61	1.0691	86	1.0736
12	1.0171	37	1.0492	62	1.0697	87	1.0731
13	1.0185	38	1.0502	63	1.0702	88	1.0726
14	1.0200	39	1.0513	64	1.0707	89	1.0720
15	1.0214	40	1.0523	65	1.0712	90	1.0713
16	1.0228	41	1.0533	66	1.0717	91	1.0705
17	1.0242	42	1.0543	67	1.0721	92	1.0696
18	1.0256	43	1.0552	68	1.0725	93	1.0686
19	1.0270	44	1.0562	69	1.0729	94	1.0674
20	1.0284	45	1.0571	70	1.0733	95	1.0660
21	1.0298	46	1.0580	71	1.0737	96	1.0644
22	1.0311	47	1.0589	72	1.0740	97	1.0625
23	1.0324	48	1.0598	73	1.0742	98	1.0604
24	1.0337	49	1.0607	74	1.0744	99	1.0580
25	1.0350	50	1.0615	75	1.0746	100	1.0553

日本薬局方ニ曰 醋酸ハ澄明無色ノ液ニシテ重湯煎ノ温ニ於テ全ク揮散ス比重ハ一、〇四八ナリ「氷醋酸ハ澄明無色ノ液ニシテ刺スガ如キ酸臭ヲ有シ重湯煎ノ温ニ於テ全ク揮散シ寒冷ニ逢ヘハ凝固シテ結晶塊トナリ大約十六度ニ於テ再ヒ熔融シ沸騰點ハ大約百十七度ナリ水、酒精及依的兒ニハ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重一、〇五六乃至一、〇六四ナリ

〔貯法〕

揮發性ノ酸ナルヲ以テ玻璃罎ニ入レ密封シ貯フベシ

〔應用〕

色素ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ染工上殊ニ捺染術ニ賞用シ或ハ炭酸鉛ノ製造并ニ硝基偏蘇兒ノ還元藥等ニ應用セラレ

醋酸ハ食醋ヲ製スルニ用ヒラル殊ニ英國ノ如キハ酒類ニ重税ヲ課セラル、ガ爲メ酒精ヨリ醋酸ヲ製造スルコト能ハサルガ故ニ木材ヲ乾餾シテ製シタル處ノ醋酸ヨリ食醋ヲ製造ス

醋酸鉛 名化學

Acetate of lead.

〔化學記號〕 $(C_2H_3O_2)_2Pb \cdot 3H_2O$

〔異名〕 鉛糖名 ロートソイケル

〔製法〕

酸化鉛ヲ木醋ニ溶解シ或ハ酸化鉛ニ醋酸ノ蒸氣ヲ觸レシメ鹽基性醋酸鉛ノ濃液ヲ造リ之ニ水及ヒ醋酸ヲ加ヘテ強酸性トナシ蒸發結晶シテ製シ之ヲ精製スルナリ

本品ヲ多額ニ製造セザル場合ニハ酸化鉛六分醋酸十分及ヒ蒸餾水五分ヲ混和シ温ヲ與ヘ溶解シ濾過シ濾液ヲ蒸發シ結晶膜ヲ生スルニ至テ放冷スレハ之カ結晶ヲ析出スルヲ以テ收集シ乾燥ス

〔性状〕

無色或ハ白色半透明稜柱狀若クハ針狀ノ結晶體ヲナシ氣中ニ放置スレバ結晶水ヲ失ヒ漸々風化シ炭酸鉛ノ白皮ヲ被ル味ハ初メ甘ク后チ収斂性ノ鐵味ヲ有ス故ニ鉛糖ノ名アリ冷水一二五分酒精八分ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵ス

日本藥局方ニ曰

醋酸鉛ハ透映無色ノ結晶或ハ白色結晶性ノ塊ニシテ僅微ノ醋酸

ノ臭氣ヲ有シ氣中ニ於テ微ニ風化シ大約二分ノ水ニ溶解シ又酒精ニ溶解ス

〔貯法〕

氣中アツテ風化シ且ツ炭酸鉛ニ變スルヲ以テ密閉器中ニ貯フベシ

〔來歴〕

千四百年代ニ於テウァーレンチン氏醋中ニ蜜陀僧ヲ溶解セシトキニ此結晶ヲ得タルモノナリ

〔應用〕

格魯謨酸鉛ノ如キ鉛製顏料及ヒ醋酸亞爾密紐謨醋酸格魯密烏謨ノ如キ醋酸鹽類ノ製造ニ用キ又植物性色素ト抱合スルノ性アルヲ以テ染工家ハ媒染劑トシテ賞用ス

醋酸鐵

化學名 Acetate of iron.

〔化學記號〕 $Fe(C_2H_3O_2)_3$

〔製法〕

鐵屑ヲ醋酸ニ溶解シ或ハ綠礬溶液ニ醋酸鉛或ハ醋酸石灰ヲ加ヘ分解シテ製ス

綠礬ニ醋酸鉛ヲ加ヘ複分解法ニ由リ醋酸鐵ヲ製スルニハ純綠礬濃厚液ニ醋酸鉛ノ粉末ヲ綠礬ト等量ニ加ヘ能ク攪拌シ瓶中ニ入レ固封ス然ルトキハ化生シタル硫酸鉛ハ下底ニ沈降スルヲ以テ上澄ハ醋酸鐵液ナリ

〔性状〕 無色透明ノ液體ニシテ醋酸ノ臭氣ヲ有シ大氣中ニ放置スルトキハ酸化シテ液面ニ褐色ノ皮膜ヲ生ス又亞爾加里溶液ヲ加フルトキハ直チニ水酸化鐵ヲ沈降ス

〔貯法〕 酸化シ易キ物質ナレハ玻璃罎中ニ固封シ貯フベシ

〔應用〕 染工家ノ賞用スル藥品ニシテ殊ニ複分解法ニテ製シタルモノハ捺染術ニ用キラル

木醋酸鐵 *Pyrolignite of iron*. ハ一ニ黒液或ハ鐵液ト稱シ鐵屑ヲ木醋酸中ニ投シ溶解シタル黒色ノ液體ニシテ焦臭ヲ有ス又本邦ニテ鐵漿ト稱スルモノハ甘酒、腐敗酒其他ノ醱酵性原質ヲ酸敗セシメテ得タル液中ニ燒灼シタル鐵屑ヲ入テ溶解シ製シタル酸臭アル液體ニシテ共ニ染工家ノ使用スル處ナリ

醋酸格羅密烏謨 化學名

Acetate of chromium.

〔化學記號〕 $Cr_2(C_2H_3O_2)_6$

〔異名〕 醋酸格魯魯母別名 醋酸鐵

〔製法〕 通常之ヲ製スルニハ露明礬ニ醋酸鉛或ハ醋酸石灰ヲ加ヘ分解シテ製スルコト醋酸鐵同ジケレモ其製出シタル液中ニハ硫酸加里ヲ溶存ス

〔性状〕 販賣品ハ青綠色透明ノ液體ニシテ稍々醋酸ノ臭氣ヲ有シ大氣中ニ放置スルトキハ漸々分解シ又亞爾加里液ニ逢フトキハ水酸化格羅密烏謨ノ綠澱ヲ生ズ

〔貯法〕 玻璃罎中ニ入レ密閉シ貯フベシ

〔應用〕 色素殊ニアリザリン色素ト抱合スルヲ以テ之ガ媒染劑トナシ又此目的ヲ以テ捺染術ニ使用セラル

〔產地〕 亞弗利加ノ海岸北耳北里地方ヨリ產出ス

〔基本〕 松柏科ニ屬スル *Caliris quadrivalis*, *Ventanas*. ト稱スル植物ノ樹

幹ヨリ自然ニ漏出スル樹脂ニシテ時ニヨリ之ニ鑽刻シ滲出スル津汁ヲ氣中ニ於テ乾涸シタルモノナリ

〔性状〕 「マスタック」ニ類スル淡黄色楕圓形或ハ圓柱形ノ固塊ニシテ臭氣アリ表面ハ白粉ヲ被リ比重ハ一〇五ナリ質ハ脆弱ニシテ咀嚼スレバ軟化シ水ニ溶解セズ亞爾個保兒及ヒ的列並底油等ニ溶解ス

〔應用〕 専ラ假漆製造ノ原料ニ供セラル

珊達刺屈假漆 *Santalac varnish*. 珊達刺屈ハ其質脆弱ナルヲ以テ此モノ一品ニテ

ハ假漆ヲ製造スルコトナク通例左ノ如キ配合ニ據ル

- 珊達刺屈……………三分
 - 硝子末……………二分
 - 亞爾個保兒……………十三分
 - 的列並底油……………三分
- 爰ニ硝子末ヲ用フルハ珊達刺屈ノ凝着ヲ防クガ爲メニシテ又的列並底油ニ代ユル

ニ「セルラック」ヲ用フルコトアリ

酸化鉛 化學名 Oxido of lead. [化學記號] PbO

〔異名〕 一酸化鉛別名 蜜陀僧通名 沒多僧、黃丹、爐底、ロカス、

〔製法〕 通常銀ヲ含有スル方鉛鐵ヲ熱灼シ銀ヲ製スルノ際、副生物トシテ得ヘク或ハ鉛ヲ溶解シ其表面ニ化生スルモノヲ收集シ之ヲ精製スルモノナリ

炭酸鉛或ハ硝酸鉛ヨリ酸化鉛ヲ製スルニハ之ヲ磁製ノ坩堝ニ入レ赤熱シ炭酸瓦斯或ハ次硝酸瓦斯ヲ發散セシメテ得タル處ノ熔融物ヲ冷却シテ製ス

〔性状〕 黃黄色或ハ橙黄色ノ重キ粉末若クハ固塊ニシテ赤熱ニ逢ヘバ熔融シ冷ユレバ凝結ス氣中ニ於テ久時三四百度ニ熱スルルハ鉛丹ニ變ス又氣中ニ放置スレバ漸々炭酸瓦斯ヲ攝取シテ炭酸鉛ニ變ス水ニハ僅ニ溶解スレモ硝酸ニハ容易ニ溶解ス又亞爾加里液ニ溶解シ其

溶液ヨリ菱形ノ結晶ヲ析出ス

酸化鉛ヲ熔融シ急ニ冷却スレバ淡黄色ヲ呈シ又之ヲ徐々ニ冷却スレバ赤黄色ヲ呈ス
ス甲ヲ銀蜜陀僧ト云ヒ乙ヲ金蜜陀僧ト云フ

日本藥局方ニ曰 酸化鉛ハ類黄色或ハ赤黄色ノ重キ粉末或ハ小葉狀結晶塊ニシテ
醋酸及稀硝酸ニ溶解シ水及酒精ニ溶解セス熱スレバ熔融シテ暗色ヲ呈ス

〔貯法〕 炭酸瓦斯ヲ攝収シ易キガ故ニ玻璃櫃中ニ密閉シ貯フベシ
〔應用〕 鉛鹽類并顔料ノ製造ニ供シ或ハ油類ト溶合シテ油製假漆ノ
製造ニ應用ス

蜜陀油 *Litharge-oil*. ハ一ニ蜜陀漆、陰光漆、或ハ阿蘭佗油ト稱シ紙葎、合羽、油
繪等ニ應用セラル、モノニシテ之ヲ製スルニハ通常左ノ材料ヲ磁製鍋ニ入レ熟煮
シ濃厚ナラシメ之ニ燈心ヲ没入スルニ倒レザルヲ度トシ火ヨリ下シ濾過シ濾液ヲ
密閉器中ニ貯フルナリ

荏油……………壹合

蜜陀僧……………二乃至三匁

酸化格羅密烏謨

化學名

Oxydo of chromium.

(化學記號) Cr_2O_3

〔異名〕 三酸化格魯繆母別名 酸化格羅謨、酸化鉻

〔製法〕 格羅謨酸鹽類溶液ニ苛性曹達ヲ加フルキニ生スル淡綠色ノ
水酸化格羅密烏謨ヲ取り熱灼シ或ハ重格羅謨酸加里ヲ赤熱シテ製シ
又格魯謨酸加里溶液ニ硝酸水銀ヲ加フルキニ生澱スル格羅謨酸水銀
ヲ取り磁製管中ニ納メ熱灼シテ製ス

〔性状〕 綠色無形ノ粉末ニシテ硼砂或ハ玻璃ト共ニ熔合スルキハ之
ニ美麗ナル綠色ヲ染メ水、亞爾個保兒ニ溶解セズ又殆ト酸類ニ溶解セ
ズ

〔應用〕 顔料ヲ製スルニ用キ其他陶器ノ釉藥及ヒ玻璃ノ綠色彩色料
ニ供ス

酸化箇拔爾篤 化學名 Oxido of cobalt.

〔化學記號〕 Co₂O₃

〔異名〕 酸化鎳、黑色酸化箇拔爾篤

〔製法〕 輝鎳礦ニ硝酸ヲ加ヘ溶解シ水ヲ以テ稀釋シ濾過シテ濾液ニ炭酸加里ヲ加ヘ炭酸箇拔兒篤ヲ沈降セシメ之ヲ取り水洗シ乾燥シテ製ス

〔性状〕 黑色無形ノ粉末ニシテ之ヲ研砂或ハ玻璃ト共ニ熔合スルトキハ之ニ美麗ナル藍色ヲ染メ水亞爾個保兒ニハ溶解セサレハ酸類ニハ溶解シテ桃色ノ鹽類ヲ生ズ

〔應用〕 陶磁器ノ藍青色釉藥トナシ或ハ玻璃ヲ藍青色ニ染ムルニ用キラル又礬土或ハ酸化亞鉛ト熔合シテ顔料ヲ製ス

吳須 Cobalt 本邦愛知、岐阜ノ諸縣ニ箇拔爾篤礦ヲ産出ス此礦ハ酸化箇拔爾篤ニ

硫黃、砒素、銅等ヲ含有スル黑色或ハ黒青色ノ固塊ニシテ之ニ砂礫ヲ雜有ス而シテ此鐵石ヲ坑中ヨリ採掘シ粉碎シテ水中ニ洶汰シ土砂ヲ去リ再ヒ水簸シ之ニ加里ヲ加ヘテ熔融シ得タル凝塊ヲ水簸シタルモノヲ吳須ト云フ陶磁器ノ彩色料ニ供ス

酸化安質母尼 化學名 Oxido of antimony

〔化學記號〕 Sb₂O₃

〔異名〕 三酸化安質母尼 別名 酸化銻

〔所在〕 白銻礦 *White antimony*. ト稱スル白色三稜形ノ結晶ヲナシ又セナーモンタイト礦 *Senarmontite ore*. ト稱スル單正八面形ノ結晶ヲナシテ産出ス

〔製法〕 人工ニハ三鹽化安質母尼或ハ硫酸安質母尼ノ溶液ニ炭酸曹達液ヲ加フルルニ生澱スル白色ノ物質ヲ取り水洗シ百度ノ温ニ於テ乾燥シテ製ス

〔性状〕 人工品ハ灰白色ノ粉末ニシテ水、亞爾個保兒ニ溶解セサレモ容易ニ鹽酸ニ溶解シ之ニ水ヲ滴下スレバ白澱ヲ生シ又赤熱スレバ熔融シ玻璃或ハ硼砂ト共ニ熔合スレバ之ヲ黄色ニ染ム

〔應用〕 吐酒石ノ製造ニ供シ又玻璃及ヒ陶磁器ノ着色顔料ニ供ス

魚膠 通名 Isinglass.

〔異名〕 鱈膠 別名 にべ、

〔產地〕 支那、東印度及ヒ魯西亞地方ニ産シ又本邦ニテハ新潟、茨城、千葉ノ諸縣沿岸ヨリ出ス

〔基本〕 魚膠ハ鱈魚 アウザマ *Accipenser sturio*、イシモチ 其他石首魚等ノ浮囊ニシテ一種ノ純良ナル膠質ヨリ組成セラル、モノナリ

〔製法〕 基本魚類ノ新鮮ナル浮囊ヲ取り切截シ外面ニ附着スル纖維狀ノ物質及ヒ脂肪、血液ヲ冷水ニテ能ク洗滌シ去リ之ヲ板狀ニ張り日

光ニ晒乾スルコト大凡二週間ニシテ成工ス

〔性状〕 白色半透明韌性ノ膠質ニシテ纖維狀ノ方向ニハ容易ニ分裂シ温湯ニハ能ク溶解シ膠液トナリ其他ノ性質ハ膠ニ異ナルコトナシ

日本藥局方ニ曰 魚膠ハ類白色強韌半透映殆ト角質様ノ皮膜ニシテ葉片或ハ纖維ナル截片ヲナシ其纖維ノ方向ニ於テ破綻シ易ク臭味ナシ水ニ浸セバ膨起シ沸湯及沸騰稀酒精ニハ殆ト全ク溶解ス

〔種類〕 市中ニにべト稱シ販賣スルモノハ魚類ノ浮囊、筋或ハ獸類ノ皮膜等ヨリ製造スルモノニシテ其一ニヲ示スルハ左ノ如シ

京にべ、 寒冷ノ候ニ牛ノ鮮肉ニ附着スル皮膜ヲ能ク冷水ニテ洗滌シ次テ之ヲ搗磨シ得タルモノヲ一定ノ形狀トナシ乾燥シテ製ス黄白色方形ノ扁板ヲナシ大サ壹寸五分許幅三四分ニシテ中ニ數多ノ氣泡ヲ有シ其質堅シ

魚にべ、 然ノ新鮮ナル筋ヲ集メ製スル處ノ黒褐色板狀ノ膠質ニシテ其形狀ハ京にべニ類ス

鹿にべ、鹿ノ鮮肉ニ附着スル皮膜ヨリ製シ黒褐色板狀ノ膠質ニシテ其中ニ鹿毛ヲ雜有シ其形狀ハ京にべニ類ス

〔應用〕

飲料品例之ハ葡萄酒、麥酒等ヲ清淨ナラシムルニ用ヒ或ハ諸般ノ什器ヲ接着スルニ用ヒ又此膠汁ヲ砂糖ト共ニ熱シテ得タル黃色透明ノ液ハ書簡ノ封膠等ニ用キラル

葡萄酒等ノ濁濁スルヲ清澄ニナサント欲セバ魚膠ヲ適宜ノ水ニ溶解シテ注入スベシ然ルトキハ自ラ膜ヲ生シテ酒中ノ濁質ハ凝固スルガ故ニ之ヲ濾過スレバ其清澄ノ液ヲ得ルナリ

金箔

名別 Gold-leaf.

〔產地〕

本邦ニテハ東京、大阪、宮城、石川、福島ノ諸府縣ヨリ製出ス

〔製法〕

黃金ハ可展性ニ富ムヲ以テ之ヲ打槌シ扁平トナシ再三烱煉シ打槌シテ至薄トナシ製シタル處ノモノヲ金箔ト云フ

我國ニテ金箔ヲ製スルノ法數多アレ其方法ニ至テハ大同小異ナルヲ以テ其一ヲ示スベシ先ツ黃金ニ刃ヲ取り炭火ニ上セ燒キ鎚展シテ大約長サ七寸幅二寸トナシ之ヲ剪裁シ方二寸トス而テ別ニ六百葉ノ西ノ内紙ヲ灰汁ニ漬スコト六時間能ク絞リ莖上ニ乾燥シ且未タ全ク水氣ノ除カザルモノヲ取り石砧上ニテ鐵鎚シ時々十葉ヲ左右ニ分チ取り又鎚展ス且ツ分チ且ツ鎚シテ遂ニ一葉毎ニ之ヲ分チ打鎚シ得タル粘硬性ノ紙ヲ合セテ之ニ展薄シタル金片ヲ插ミ猫皮ニテ卷キ鹿皮囊ニ入レ石砧上ニテ鎚展ス時々出シテ其展薄ノ度ヲ點檢シ約ソ方五寸ニ至ルヲ候ヒ鹿草上ニ致シ竹篋ニテ截リ方四寸トナシ又之ヲ四截シテ下地紙(西京産ノ西陣紙)ニ插ミ又鎚展シテ横冊ニ插ミ截テ方二寸トナシ下地紙ニ插ミ鎚展スルコト大約二週間ニシテ方三寸三分ノ金箔百葉ヲ得ルモノナリ

〔性状〕

大氣中ニ在テ變セサル光輝アル黄金色ノ薄葉ニシテ之ニ厚薄アリ大サハ通例三寸三分乃至四寸平方ヲナシ隨意ニ截斷シ得ベク水銀中ニハ能ク溶解ス

消金 Gold-dust 至薄ノ金箔ヲ磁製乳鉢ニ入レ膠液ヲ加ヘ調和シ乾燥シテ粉末ト
 ナシ後チ沸湯ヲ注キ膠質ヲ洗去シ乾燥シテ絹篩ニテ篩過シ製ス金箔ニ比スレバ稍
 純色ノ粉末ニシテ之ヲ濃色消粉ト稱シ専ラ蒔繪及ヒ陶器ノ彩色料ニ供スルモノ
 ナリ

〔種類〕 黄金ニ銀ヲ添加シ鍍展シタル金箔ハ銀ノ配合量ニヨリ其色
 ヲ異ニシ其銀量ニ由リ種類數多アリ即チ本濃色、中濃色、常色、定色、薄色
 アリテ其大サハ四寸、三寸、正三、並三等アリ

〔貯法〕 取扱上ニ便ナランガ爲メ通例胡桃仁ニテ摩擦シタル紙片間
 ニ挿ミ貯フベシ

〔應用〕 金箔ハ器具ニ貼付スル一種ノ裝飾品ニシテ之ヲ漆、假漆或ハ
 糊液ヲ以テ粘着セシム其四寸ノモノハ屏風、裱障、ニ用キ正三寸三分ノ
 モノハ佛具ニ用キ並三寸三分ノモノハ織物製品トナシ三寸ノモノハ
 丸藥ノ衣トナシ其他彩繪等ニ應用セラル、モノナリ

銀箔通 Silver-leaf.

〔產地〕 本邦ニテハ主トシテ東京、大阪、京都ノ三府ニテ製出ス

〔製法〕 金箔ヲ製造スルガ如ク銀板ヲ打鍍シ再三燒還シテ鍍展シ至
 薄ニ製スルナリ

〔性状〕 銀白色光輝アル薄葉ニシテ大サ三寸七分乃至四寸厚薄アリ
 テ切截シ得ヘク又水銀中ニハ容易ニ溶解ス

銀粉 Silver-dust 本品ハ金箔ヨリ消金ヲ製スルト同法ニ由リ製造スル銀箔ヨリ稍
 鈍キ銀白色ノ粉末ヲナシ蒔繪及ヒ陶磁器ノ彩色料ニ供ス時トシテ中ニ錫鉛等ヲ
 雜有スルモノアリ

〔貯法〕 銀箔モ至薄ノ物質ナルヲ以テ紙間ニ挿ミ貯フベシ

〔應用〕 銀箔ハ金箔ト同シク器具ノ裝飾品トシ應用セラル、モノニ
 シテ中ニ銅分ヲ含有スルモノハ下品ナリ

湯花 名通

Native precipitated sulphur.

〔異名〕 土硫黃、水硫黃

〔產地〕 本邦ニハ群馬、福島、神奈川、兵庫、新潟、栃木、長野、石川ノ諸縣ヨリ産出ス

〔製法〕 山腹ヨリ流出スル硫黃泉ヲ小渠流トナシ之ニ石ヲ壅積シ數派ニ分流セシメ薦ヲ水底ニ敷キ大凡ソ三日間ヲ經レバ湯花ハ薦上ニ推積ス由テ之ヲ收集スルニハ先ツ上流ヲ壅塞シ水ノ涸ルヲ待テ木盤ニテ之ヲ撈取シ板上ニ致シ太陽ニ曝シ乾燥スルナリ

〔性状〕 黄白色無形ノ粉末ニシテ稍々硫黃ノ臭氣ヲ有シ水、亞爾個保兒ニハ溶解セザレモ亞爾加里液ニハ溶解ス其他ノ性質ニ至テハ硫黃ニ異ナルコトナシ

〔應用〕 偶工師ハ偶像ヲ捏造スル際ニ之ヲ調和ス是レ蟲蝕ノ憂ナキ

ガ爲メナリ其他ノ應用ハ硫黃ニ同シ

明礬 漢名 Alum.

明礬トハ亞爾密紐謨、鐵、格羅密烏謨ノ硫酸鹽類ト硫酸亞爾加里トノ抱合物ニシテ硫酸亞爾密紐謨ト硫酸亞爾加里ノ抱合物ニ加里明礬 Potassic alum. 曹達明礬 Sodie alum. 安母尼亞明礬 Ammoniacal alum. ノ三種アレモ單ニ明礬ト稱スルトキハ加里明礬 $Al_2(SO_4)_3 \cdot K_2SO_4 \cdot 24H_2O$ ヲ指示ス

〔異名〕 硫酸亞爾密紐謨加留謨 化學名 硫酸礬土加里、礬石、涅石、鎮風石、悶石、白礬石、羽涅、羽澤、多宇佐、陶砂、須支太宇佐

〔產地〕 本邦ニハ大分、長野、栃木、群馬、鹿兒島、石川、静岡、熊本、山梨、山口ノ諸縣ヨリ産出ス

〔製法〕 明礬ヲ製スルニハ粘土ニ硫酸ヲ加ヘ後チ灰汁ヲ加ヘ濾過シ其濾液ヲ蒸發結晶セシム

粘土ハ硅酸及ヒ礬土ノ化合物ニシテ之ニ硫酸ヲ作用スルトキハ硫酸礬土及ヒ硅酸ニ變シ硅酸ハ不溶解物トナリテ沈降シ硫酸礬土ハ水中ニ溶解ス由テ之ニ熱ヲ與ヘテ此作用ヲ促シタル後チ濾過シ其濾液ニ炭酸加里(灰汁)ヲ加ヘ明礬ヲ製ス

大分縣豊後國速見郡鶴見村ニテ明礬ヲ製スルノ法ハ前條ト全シク粘土ヲ分解シテ硫酸礬土トナシ之ニ灰汁ヲ加ヘテ製ス原來此地ハ火脈ニ富ミ常ニ水蒸氣ト亞硫酸瓦斯ヲ地中ヨリ發スルヲ以テ之ニ粘土ヲ觸レシメテ硫酸礬土ニ變成セシムルガ故ニ特ニ硫酸ヲ使用シテ製造シタルモノヨリ其價モ廉ナリ

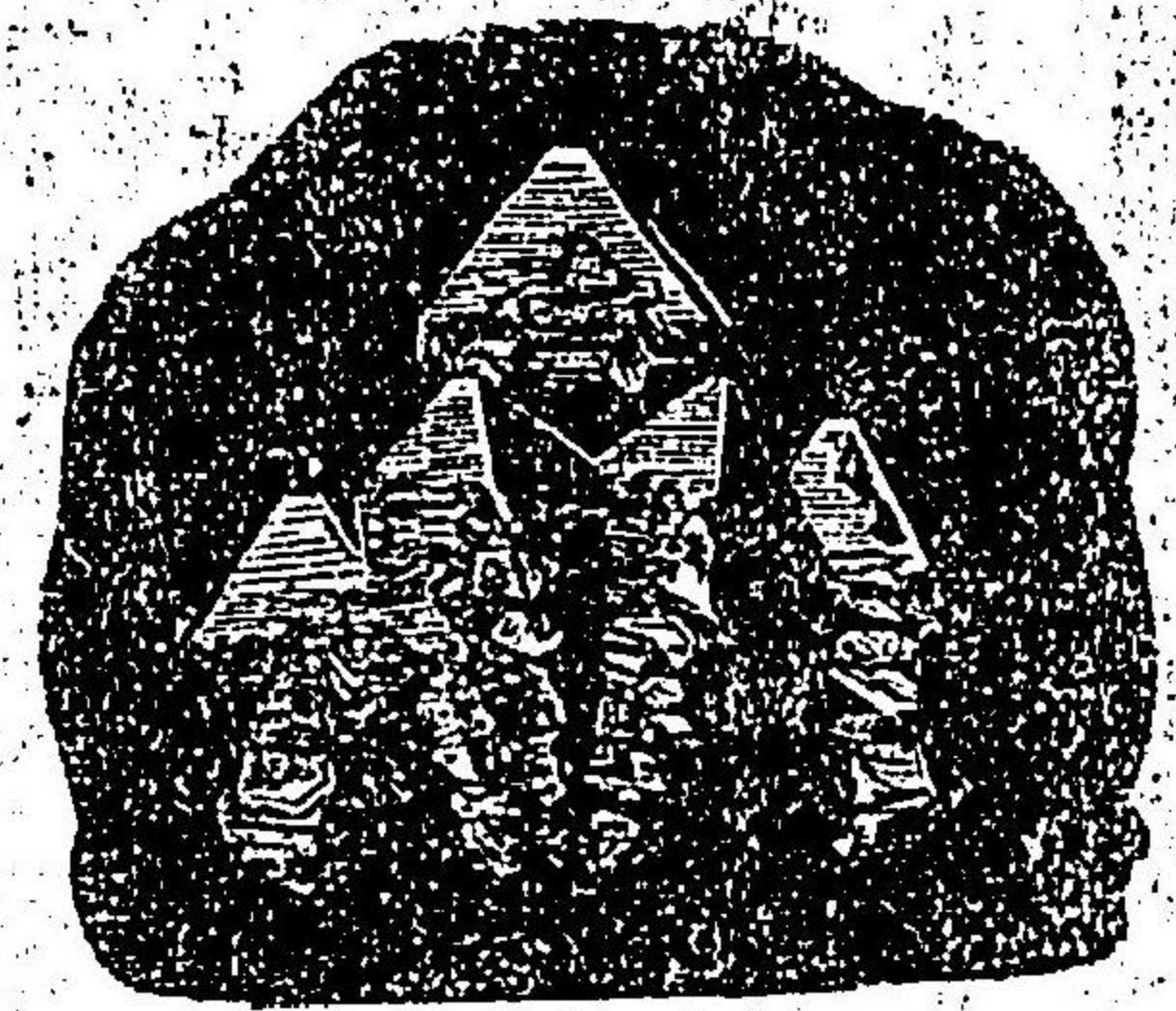
或ハ温泉近地ノ濕氣アル土質ヲ水ニテ浸出シ之ニ灰汁ヲ加ヘ濾過シ濾液ヲ蒸發結晶シテ製ス

栃木縣下野國那須郡湯本村ニテ明礬ヲ製スルノ法ハ明礬所在ノ地ヲ認メ稻草或ハ乾草ヲ以テ其地面ヲ被ヒ雨露ヲ防キ一日ヲ經過スレバ明礬地面ニ凝結シテ霜ヲナス由テ之ヲ帚ニテ掃集シ熱湯ニ溶解シ土質分ヲ去リ灰汁ヲ加ヘ四五日間放置スルトキハ明礬ハ結晶ス

又明礬石 *Alum-ston* ヲ熱灼シ亞硫酸瓦斯ヲ揚發スルニ至レバ之ヲ水中ニ溶解シ濾過シ濾液ヲ蒸發スルキハ明礬ノ結晶ヲ得ルナリ

明礬石ハ明礬ト水酸化亞爾密紐膜トヨリ組成セラル、モノニシテ之ヲ熱スレバ分解シ水中ニ投スルトキハ明礬ハ溶解シ酸化亞爾密紐膜ハ不溶解物トナリテ沈降スルナリ

〔性状〕 無色透明八面形ノ結晶體ヲナシ其晶聚シタルモノハ上圖ニ



示スガ如ク味ハ稍々甘ク収斂性ナリ冷水ト八分沸湯等分ニ溶解シ亞爾密保兒ニ溶解セズ酸性ノ反應ヲ呈シ炭酸亞爾加里ヲ加フレバ泡沸シテ溶解シ尙ホ多量ヲ加フルトキハ水酸化亞爾密紐膜ヲ沈澱ス又熱スルトキハ結晶水ノ二十四分子ヲ失ヒテ白色粗糙ノ輕キ海綿様ノ固塊トナル之ヲ枯礬、白礬、或ハ燒

明礬ト稱ス

日本藥局方曰 明礬ハ無色透映堅硬ナル正整八面晶或ハ結晶塊ヲナシ其味微甘ニシテ澁ク酸性ノ反應ヲ徴シ十、五分ノ水ニ溶解シ酒精ニ溶解セズ熱スレバ熔融シ次ニ甚ク膨起シ終ニ疎鬆白色ノ塊トナル

〔來歴〕 明礬發見年代未詳ナレ 正續日本紀卷第一曰文武天皇二年丙六月近江國獻白礬石トアリ

西國事物紀原ニ據レバ「明礬ハ其初メ亞細亞ノ地ヨリ日耳曼、英吉利、伊太利ニ入り一千四百五十八年(長祿二年)伊太利ニ於テ始メテ養礬廠ヲ作リテ明礬ヲ熟製ス是レヨリ漸ク歐羅巴諸國ニ行ハル日耳曼ニテハ一千六百〇六年(慶長十三年)始メテ之ヲ製スヒトアリ

〔應用〕 染工家ハ多量ニ媒染劑トシテ使用シ畫工ノ顔料製造或ハ寫眞師ノ膠製種版ヲ造ルニ用キ又膠液ト和シテ礬水ヲ造リ畫工及ヒ版摺師之ヲ用キ、酒造家ハ清酒ヲ清澄ナラシムルニ用キ其他蠟燭製造ニ

於テ其脂油ヲ硬固且ツ晒白スル等ニ用キ其應用甚ダ擴キ處ノ一藥品ナリ

礬土ハ有機性色素ト化合スルノ性アルヲ以テ明礬ヲ染色上ニ使用ス而シテ明礬中ノ礬土ヲ纖維中ニ吸收セシムルヲ以テ媒染劑ノ効ヲ奏スルノ目的トスルガ故ニ之ヲ使用スルニハ其礬土ノ分離ヲ容易ナラシムルニアリ其法ハ明礬ノ溶液ニ炭酸曹達ヲ加ヘ酸性ヲ中和シテ鹽基性鹽類トナスニアリ

水戸箔通 Leaf of mito.

〔製法〕 此箔ハ銅ニ亞鉛其他ノ金屬ヲ配合シタル合金ヲ鍍展シ至薄トナシ製シタルモノニシテ常陸國水戸ニ於テ創製シタルモノナリ

〔性状〕 金箔ヨリ稍々赤色ヲ帶ブル處ノ薄葉ニシテ通常三寸平方ノ大サヲナシ氣中ノ濕氣ニ逢フテ漸々變色ス

〔貯法〕 金箔ノ如ク紙間ニ挿ミ貯フベシ

〔應用〕 金箔ノ代用トシテ主ニ廉價ナル器具ノ裝飾ニ供ス

磨砂 名通 Polishing sand.

〔産地〕 本邦ニテ千葉、三重、愛知、宮城、廣嶋、大阪ノ諸府縣ヨリ産出シ殊

ニ安房國平群郡ヨリ産スルモノ其名高シ故ニ房州砂ノ名アリ

〔性状〕 白色ノ輕キ無形ノ粉末ニシテ水ニ溶解セザレバ酸類ニ逢フ

トキハ泡沸シテ溶解シ其際珪酸ヲ殘留スルコトアリ

〔成分〕 磨砂ハ一ノ天然物ニシテ其成分一定セザレバ水箴シテ得タ

ル上品ハ主ニ炭酸石灰ニシテ時トシテ珪酸ヲ雜有ス

〔應用〕 多ク銅鐵等ノ器具ヲ琢磨スルニ使用シ又磨齒粉ノ劣品ヲ製

造スルノ原料ニ供ス

水硝子 名通 Soluble glass.

水硝子トハ水ニ溶解スル珪酸亞爾加里ニシテ之ニ數種アリ其主ナルモノハ加里水

硝子、曹達水硝子及ヒ其重複水硝子ノ三種トス

〔製法〕 水硝子ノ製法ニハ種々アレバ其一ヲ掲クレバ加里水硝子ハ純精珪砂四十五分、炭酸加里三十分ニ木炭三分ヲ加ヘ熔合シテ製シ、曹達水硝子ハ純精珪砂百八十分、曹達灰百分及ヒ木炭三分ヲ混和シテ熔合シテ製シ、又重複水硝子ハ純精珪砂百五十分、炭酸加里七十分、曹達灰五十四分ヲ混和シテ熔合シテ製ス

〔性状〕 白色結晶様ノ固塊或ハ無色透明飴狀ノ液體ヲナシ共ニ水ニ溶解シ亞爾加里性ノ反應ヲ徴ス炭酸ヲ除ク他ノ酸類ニ逢フキハ分解シテ珪酸ヲ游離シ自ラ膠狀ノ液ニ變ス

〔貯法〕 揮發性ノ酸類ニモ分解シ易キヲ以テ是等酸類ヲ貯藏スル處ヲ避ケ密閉器中ニ貯フベシ

〔來歴〕 一千六百四十年、フオンヘルモンド氏ニ由テ創製セラレタル

モノニシテ一千八百二十五年、フオンフツク氏珪酸ニ亞爾加里ヲ混塔シテ製シ之ニ水硝子ノ名稱ヲ與ヘタリ

〔應用〕 珪酸石鹼ノ製造ニ供シ或ハ假漆トナシ其他染工用ノ固着劑ニ應用ス

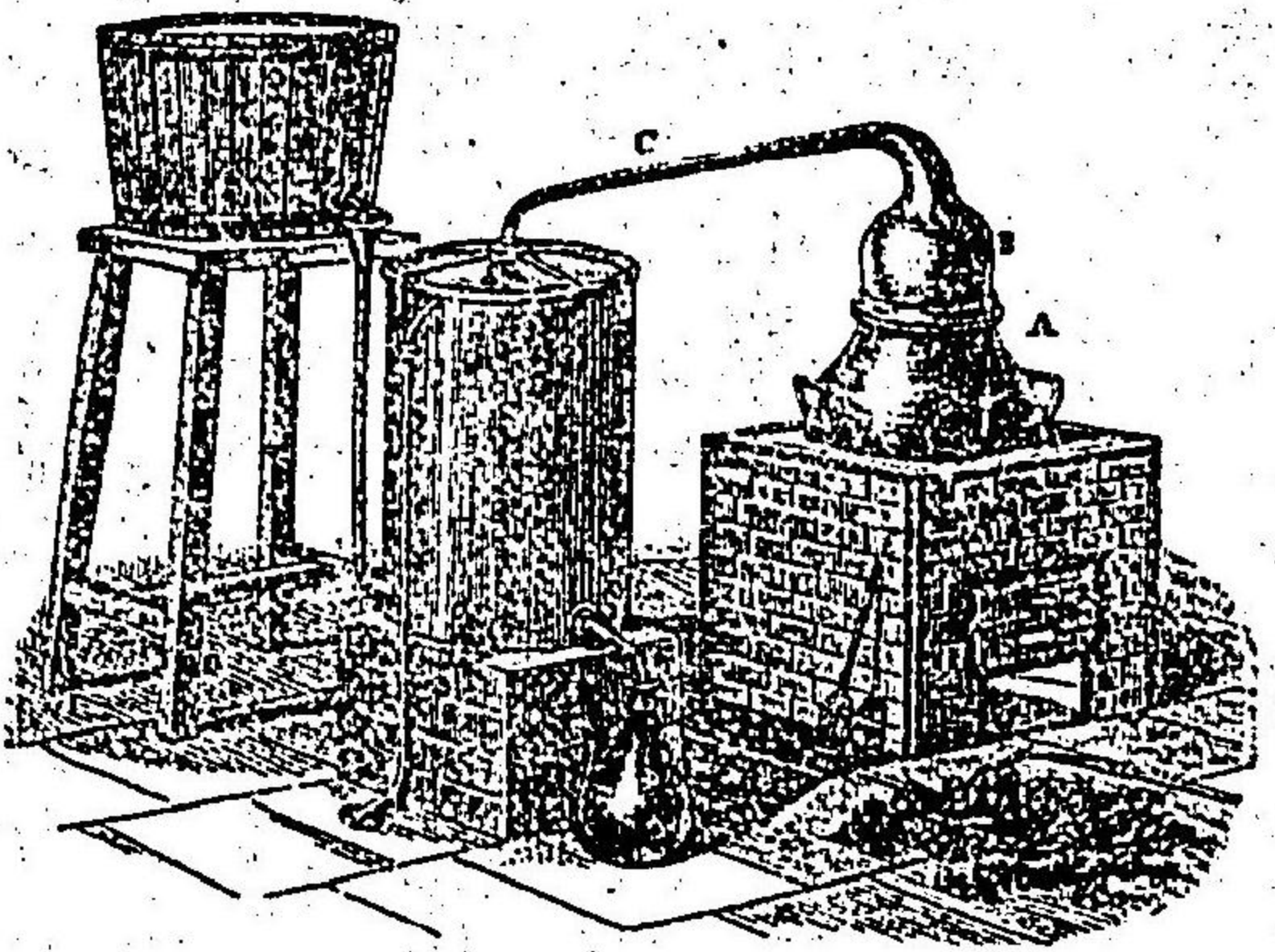
蒸留水 名通

Distillate water. (化學記號) H₂O

〔異名〕 餾水 名略

〔製法〕 井水、泉水中ニハ瓦斯、固形分ヲ溶存スルヲ以テ之ヲ除去シテ純粹ニナシタルモノヲ蒸留水ト云フ而シテ井水、泉水ヲ一度熱スルトキハ初メ瓦斯ハ發散シ次テ水ハ水蒸氣ニ變シ固形分ヲ殘留ス故ニ純潔ナル水ヲ得ルニハ其水蒸氣ヲ凝聚スルニアリ

蒸留水ヲ製スルニハ一大工場ニ於テハ諸機關ヲ運轉スルガ爲メニ設置シタル氣罐ノ水蒸氣ヲ直ニ凝縮スレモ通常ノ法ハ上圖ノ如キ内面ニ鍍錫シタル銅罐(A)ニ水



ヲ入レ之ヲ熱シ揚發スル水蒸氣ヲ兜蓋(B)ヨリ頸管(C)ヲ經テ凝縮器(S)内ニ至ラシム此凝縮器ハ内ニ螺旋管ヲ有シ頸管ト連通シ冷水ヲ充シアルヲ以テ水蒸氣ハ此處ニ於テ凝縮シ滴下シテ受器(D)中ニ滯留ス又凝縮器ハ絶ヘズ冷水ナラシメガ爲メ器底ヨリ水ヲ注入シ過剩ノ水ハ之ヲ溢出セシムルナリ而シテ最初ニ餾出スル水ニハ炭酸、安母尼亞等ヲ含存スルガ故ニ之ヲ棄却シ更ニ收集スベク其一分ヲ取り安母尼亞、炭酸、鹽

分等ノ有無ヲ試驗スルコト肝要ナリ

〔性状〕 無色透明無臭無味中性ノ液體ニシテ零度ニテ凝結シ百度ニテ沸騰ス能ク固體、液體、氣體ヲ溶解スルノ性アリ

日本藥局方ニ曰 蒸留水ハ澄明無色中性ニシテ臭味ナク之ヲ蒸發スルニ殘留物ヲ

見ス石灰水ニ容量ヲ和スルモ濁濁セズ又「チツスレル」試薬、硝酸銀、硝酸拔留膜并樟酸安母紐膜ニ由テ變化ス可カラズ

〔貯法〕 塞栓ヲ有スル器中ニ密閉シ貯藏スベシ

〔應用〕 水ハ諸物ヲ溶解スルノ性ヲ有シ殊ニ蒸餾水ハ純潔無垢ノモノナレバ化學、製薬、寫真術其他百般ノ工藝技術ニハ一日モ缺クベカラザル工業薬ナリ

樟腦名通 Camphor. (化學記號) $C_{10}H_{16}O$

〔異名〕 氷片別名 羯布羅

〔產地〕 日本、支那、敦泥等ニ産出シ本邦ニテハ和歌山、愛媛、高知、大分、福岡、長崎ノ諸縣ニシテ殊ニ我新版圖タル臺灣ニハ多量ニ産出スルモノナリ

〔基本〕 樟腦ハ樟科植物ノ樟クヌギ *Cinnamomum camphora*, Nees.ノ樹幹枝葉中

ニ含蓄スル固形ノ揮發油ナリ

〔製法〕 樟樹ヲ切截シ小片トナシ鐵釜ニ入レ水ヲ加ヘ釜上ニハ内面ニ藁ヲ被覆スル土製ノ蓋ヲ被ヒ水ヲ沸騰スルトキハ揮發油タル樟腦ハ水蒸氣ト共ニ昇騰シ藁桿上ニ華トナリテ附着ス又其水蒸氣ヲ水槽中ニ導キ凝集セシムレバ腦分ハ槽内ニ附着スルヲ以テ共ニ之ヲ收集スルナリ

爰ニ製シタル樟腦ハ粗製品ナルヲ以テ之ヲ砂鍋上ニ於テ徐々ニ熱シ或ハ特ニ石灰木炭ヲ和シテ熱シ昇華シテ精製ス之ヲ片腦ト云フ

〔性状〕 坊間ニ販賣スル樟腦ト稱スル粗製品ハ多少帶色アル顆粒狀ノ固塊ナレモ精製品ハ白色柔軟性結晶様ノ塊片ナリ一種特異ノ芳香ヲ有シ其香氣ハ強クシテ之ヲ水面ニ投スレバ廻轉ス味ハ灼クガ如ク後チ清涼ナリ點火スレバ煤烟ヲ揚テ燃燒シ比重ハ〇、九八五乃至〇、九九ニシテ百七十五度ニ於テ熔融シ二百〇四度ニテ沸騰ス水ニハ僅ニ

溶解スレハ亞爾個保兒依的兒、硫化炭素、噶囉仿謨、水醋酸、揮發油等ニハ能ク溶解ス

日本藥局方ニ曰 精製樟腦ハ白色半透明結晶性ノ塊片若クハ粉末ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味ハ始メ灼クガ如ク後ニ清涼ナリ重湯煎ノ温ニ於テ至ク揮散シ大約百七十五度ニ於テ熔融シ二百四度ニ於テ沸騰シ點火スレバ煤烟多キ光輝アル火焰ヲ放テ燃燒ス水ニハ殆ト溶解セズ酒精及依的兒ニハ容易ク且ツ無色ニ溶解ス本品柔韌性ナレバ酒精或ハ依的兒ヲ以テ濡ホセバ粉碎スルコトヲ得

〔貯法〕 揮發油ナルヲ以テ密閉器中ニ貯フベシ

〔來歴〕 我國ニテ樟腦ヲ創製シタル年代ハ得テ知ルベカラズ又之ガ輸出ノ年代ニ至テモ明カナラサレバ今藥業雜誌第十號ニ掲クル所ヲ左ニ拔萃ス

本邦樟腦ノ製造及輸出ハ其由來ハ漠トシテ知ルベカラズト雖モ天正年間以來和蘭人我長崎ニ來リ粗製ノ樟腦ヲ購求シ歸航セシハ確タル事實ナリ同國「アムステル

ダム」府ニ於テ夙ニ之カ精製法ヲ發明シ其業漸次ニ盛大トナリタレバ其法ヲ秘シテ他國ニ傳ヘズ數百年間樟腦ノ精製法ハ和蘭人一手ノ業トナレリ爾來此法ハ遂ニ佛蘭西ニ傳ハリ夫レヨリ英吉利、獨乙、亞米利加等へ次第ニ傳播シ現今ニ至リテハ獨乙「ハンバルク」府ヲ以テ歐洲樟腦精製業ノ中心トナスト云フ

〔應用〕 蠶他ヲ防クノ効アルヲ以テ動植物其他器具書物等ヲ保存スルニ賞用シ或ハ假漆製藥烟火無煙火藥製造等ニ應用セララル

漿 蕪 名 通 Starch of wheat

〔異名〕 漿粉、生蕪

〔產地〕 本邦各地ヨリ産シ殊ニ長野、愛知、宮城ノ諸縣ヨリ多量ニ産出ス

〔基本〕 漿蕪ハ禾本科植物タル小麥 *Triticum vulgare, Willd.* ノ種子中ニ存スル澱粉ナリ

〔製法〕

小麦粉ニ水ヲ加ヘ搓捏シ後々漸々水ヲ注キ攪拌スルキハ植

物膠質食用ノ麩ハ凝固シテ塊トナルヲ以テ絹篩ニテ濾過シ桶中ニ沈

定シタル澱粉ヲ取り再三淘汰シ純白トナ

シテ製ス

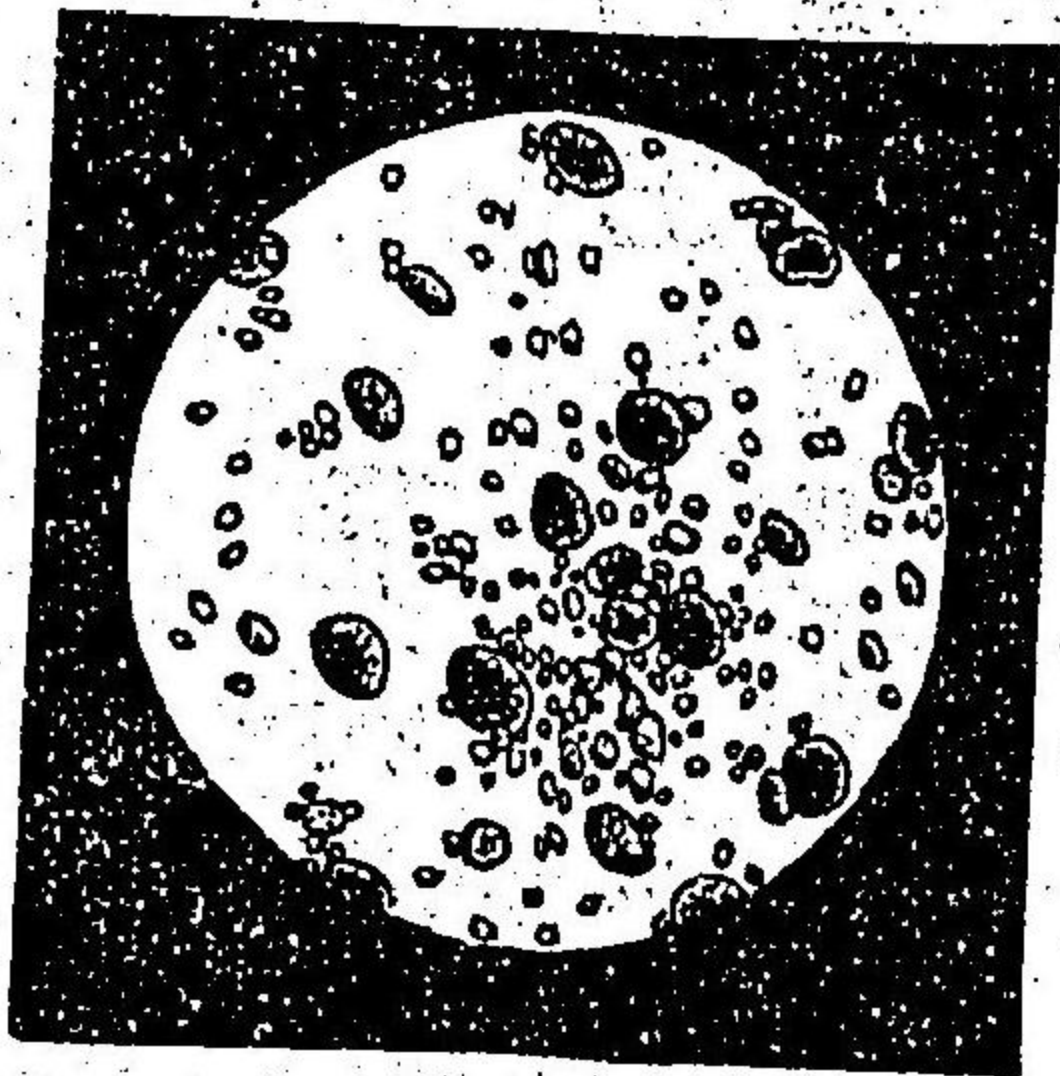
〔性状〕

葛粉ニ類スル白色無形ノ粉末ニ

シテ之ヲ顯微鏡下ニ照視スルトキハ扁圓

形ノ小粒ヲナシ其大サハ大小不同ニシテ

直徑〇・〇三乃至〇・〇五ナリ時トシテ二三



顯微鏡下ニ照視シタルル

ノ細粒集合スルモノアリテ中ニ細微ノ層ヲ顯ス其他ノ性質ハ普通澱粉ニ異ナルコトナシ

〔應用〕

裱装及ヒ織物ノ糊料トナシ或ハ燃料ニ供ス

錫箔通名 Tin-leaf

〔製法〕

錫鉛ノ合金ヲ鎚展シ薄葉トナシテ製ス

〔性状〕

光輝アル銀白色ノ薄葉ニシテ三寸平方ノ大ナラ有シ氣中ニ

アルモ變色セズ

〔貯法〕

金、銀箔ノ如ク紙間ニ挿ミ貯フベシ

〔應用〕

濕氣ニ逢フモ變色セサルガ故ニ銀箔ニ代用シ又純錫ヲ鎚展

シタルモノハ電氣機械其他齒科治術ノ充填料等ニ用キラル

錫粉 Tin-dust 錫、鉛、安質母尼ヨリ組成セラル、合金ヲ粉碎シテ製スル銀白色

ノ粉末ナリ主ニ糊料ト和シ器具ニ塗布シ後チ其面ヲ琢磨シ銀光ヲ發セシム

錫酸曹達

化學名 Stannate of soda.

〔化學記號〕 Na_2SnO_3

〔異名〕

錫酸那篤留謨別名 錫曹略

〔製法〕

智利硝石ニ苛性曹達ヲ混和シ坩堝ニ入レ熱シ錫屑ヲ投シ溶

解シテ製ス

〔性状〕 白色ノ固塊ナレモ氣中ニアツテ容易ニ潮解スルガ故ニ販賣品ハ多ク無色透明ノ水溶液ヲナシ亞爾加里性ノ反應ヲ呈シテ酸類ヲ加フルキハ白澱ヲ生ス

〔貯法〕 玻璃罎中ニ密閉シ貯フベシ

〔應用〕 染色術、捺染術等ニ専用セラル、藥品ニシテ殊ニ緋染用ニ供セラル

車前葉山慈姑粉 名通

Starch made of dog-tooth violet

〔產地〕 本邦ニハ青森、奈良、福島、岩手、秋田、愛媛、山口、廣島、新潟ノ諸縣ヨリ産出ス

〔基本〕 百合科ニ屬スル車前葉山慈姑 *Erythronium dens canis*, Linnノ根

中ニアル處ノ澱粉ナリ

〔製法〕 三四月ノ頃基本植物ノ根ヲ採掘シ皮ヲ削脱シ水洗シテ搗碎シ綿布囊ニ入レ揉濾シ桶中ニ沈定シタル處ノ澱粉ヲ再三水簸シ晒白乾燥シテ製ス

〔性状〕 白色無味無臭ノ粉末ニシテ指間ニ摩スレバ音アリ之ヲ顯微鏡下ニ檢視スルトキハ形狀馬鈴薯ニ類シ多少扁平ナル卵圓形ノ單粒ヲナシ尖圓端ノ近部ニ核點ヲ有シテ稍々小ナリ其他ノ性質ハ通常ノ澱粉ニ異ナルコトナシ

日本藥局方ニ曰 車前葉山慈姑粉ハ純白色無臭無味細微ノ粉末ニシテ顯微鏡下ニ檢視スレバ大小不同多クハ卵圓形ノ顆粒ヲナシ通例其狹端ニ近キ處ニ小孔ヲ有シ不同心性ノ層ヲ呈ス

〔應用〕 他種ノ澱粉ト同一ノ効ヲ有シ糊料及ヒ食料等ニ供セラルモノナリ

次亞硫酸曹達通 Sodium hyposulphate.

[化學記號] $\text{Na}_2\text{S}_2\text{O}_5 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$

〔異名〕 次亞硫酸那篤留謨名別 チオ硫酸曹達謨

〔製法〕 專ラ曹達製造ノ殘渣ヨリ製造スル一品ニシテ特ニ之ヲ製ス

ルニハ炭酸曹達溶液ニ亞硫酸瓦斯ヲ通シ亞硫酸曹達トナシ次ニ硫黃ヲ炭酸曹達ノ重量ノ三分ノ一ヲ加ヘ熱シ後チ其水溶液ヲ蒸發結晶セシム

〔性状〕 巨大ノ無色透明柱狀ノ結晶體ニシテ味ハ鹹苦ナリ亞爾加里性ノ反應ヲ呈シ水ニハ容易ニ溶解スレモ亞爾個保兒ニハ溶解セズ格魯兒、臭素、沃度等ヲ溶解スルノ性アリ

〔貯法〕 玻璃櫃中ニ密封シ貯フベシ

〔應用〕 晒白シタル綿布、製紙料等ノ鹽素ノ臭氣ヲ除去スルニ用ヒ其

他鹽化銀、臭化銀、沃化銀等ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ寫真術等ニ賞用セラル

臭素加里 化學 Bromide of potassium.

[化學記號] KBr

〔異名〕 貌羅謨加留謨名別 臭化剝篤亞斯、臭剝名略

〔製法〕 沃度加里ノ製法ト異ナルコトナク只沃度ニ代エルニ貌羅謨ヲ用フルノ差アルノミニシテ鐵粉ヲ水中ニ投シ之ニ貌羅謨ヲ加ヘ液ノ淡綠色ヲ呈スルニ至レバ重炭酸加里ヲ加ヘ熱シ放置シテ濾過シ濾液ヲ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 無色透明骰子形ノ結晶體ニシテ氣中ニ在テ變化セズ水亞爾個保兒ニ溶解シ鉛、水銀、銀鹽類ノ溶液ニ逢フトキハ臭化物ヲ沈降ス
日本藥局方ニ曰 貌羅謨加留謨ハ光澤アル白色骰子形ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ變

化セズ二分ノ水及二百分ノ酒精ニ溶解ス

〔貯法〕 玻璃罎中ニ密封シ貯フベシ

〔應用〕 硝酸銀ニ逢フハ臭化銀ヲ化生スルガ故ニ寫真術ニ應用セラル

蓼酸 化學名 Oxalic acid. [化學記號] $C_2H_2O_4 \cdot 2H_2O$

〔所在〕 植物殊ニ草本植物中ニ加里或ハ曹達ト化合シテ存在ス

〔製法〕 馬鈴薯澱粉十二分ニ強硝酸五分及ヒ水若干量ヲ加ヘ熱シ或ハ砂糖一分ニ水十分ヲ加ヘ之ニ一、四二ノ比重ヲ有スル硝酸四分ヲ加

ヘ全ク赤褐色ノ瓦斯ヲ發セサルニ至リ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 無色透明稜柱狀ノ結晶體ニシテ二分子ノ結晶水ヲ含有シ空氣中ニ放置スルトキハ風化シテ白色ノ粉末トナリ冷水八分亞爾個保兒四分ニ溶解シ依的兒ニ溶解セズ酸性ノ反應ヲ呈シ熱スレバ熔融シ

次テ揮散ス之ニ硫酸ヲ加ヘ熱スルトキハ分解シテ一酸化炭素及ヒ炭酸瓦斯ニ變ス

〔貯法〕 氣中ニアツテ風化スルガ故ニ玻璃罎中ニ密封シ貯フベシ

〔來歴〕 蓼酸ハ一千七百七十六年「スチール」氏ニ由リ始メテ創見セラレ一千八百二十九年「グーリユサツク」氏ハ澱粉木纖維、護謨類等ニ二百五十度ノ温ヲ保テ「ル亞爾加里」ヲ觸ル、トキハ蓼酸ニ變生スルコトヲ發見セリ

〔應用〕 染家ニ在テ捺染、拔染及ヒ漂白用ニ供シ又還元力強キヲ以テ鹽化黃金溶液ヨリ黃金ヲ沈降セシムルノ性アリ

黃金ヲ精煉シ或ハ黃金ノ細末ヲ得ント欲セバ先ツ黃金塊ヲ王水ニ溶解シ鹽化黃金トナシ其中性溶液ニ蓼酸溶液ヲ加フベシ然ルトキハ黃金ハ褐色ノ粉末トナリテ沈降ス由テ能ク水洗シ之ヲ精煉スルニハ熱シテ溶解スベシ又其粉末ヲ水銀中ニ溶解シタルモノハ鍍金術ニ應用セラル

酒精名 Spirit. [化學記號] $C_2H_5O + xAq$

亞爾個保兒ハ酒類中ニ含有スル一成分ニシテ舊譯ニテ酒精ト云フ然レモ當今酒精ト稱スルモノハ亞爾個保兒中ニ水ノ若干量ヲ含有スルモノニシテ日本藥局方ノ酒精ハ其百分中ニ亞爾個保兒(C₂H₅O)ノ大約八十六分ヲ含有スルモノトス

〔所在〕 亞爾個保兒ハ酒類即チ清酒、濁酒、燒酎、白酒、味淋、銘酒、麥酒、ブランダール葡萄酒等ノ中ニ含有スル主成分ニシテ之ヲ飲用スレバ酩酊ノ効アル處ノモノナリ

〔基本〕 穀類、馬鈴薯、甘蔗ノ如キ澱粉質或ハ蔗糖ヲ含有スル植物ニテ「アスターゼ」ト稱スル一ノ酵素素ヲ觸レシムルハ之ヲ「珪幾斯篤林」及ヒ葡萄酒ニ變セシメ更ニ「釀母」ノ媒介ニ由テ之ヲ亞爾個保兒及ヒ炭酸瓦斯ニ變セシムルモノナリ

酒類ハ之ヲ製造スル原料ニ由テ種類數多アリ即チ白米、糯米、大麥、葡萄汁等ニ

由リ清酒、味淋、白酒、麥酒、葡萄酒等ヲ生シ且ツ含蓄スル亞爾個保兒ノ量ニ差異アルノミナラズ又氣味ニモ大差アリ

〔製法〕 穀類ヲ蒸シ或ハ甘蔗、馬鈴薯等ヲ煮テ搗爛セルモノニ麴ヲ加ヘ一二週間醞釀スルトキハ「醱酵」作用ニ由テ葡萄酒及ヒ「珪幾斯篤林」トナリ更ニ醱酵ヲ持續シテ一定溫度ヲ保タシムレバ亞爾個保兒及ヒ炭酸瓦斯ニ分解スルガ故ニ充分醱酵ノ熟シタルヲ俟テ蒸餾シ亞爾個保兒分ヲ餾出スルナリ

爰ニ得タル亞爾個保兒ニハ多量ノ水ヲ含有シ且ツ不快ノ臭氣アル「フリーゼル」油及ヒ甘油等ヲ含有スルヲ以テ之ニ石灰或ハ格魯兒加爾叟謨ヲ加ヘテ後チ再餾スルカ或ハ紅熾シタル木炭ヲ以テ濾過シテ再餾ス而シテ無水亞爾個保兒ヲ得タルヤ否ヤハ其餾出液ニ無水ノ硫酸銅ヲ加ヘ此モノ青色ヲ呈セザレバ無水物ノ證ナリ

〔性状〕 純亞爾個保兒ハ無色透明揮發性ノ液體ニシテ爽快ナル臭氣ヲ有シ味ハ灼クガ如ク之ニ點火スレバ淡青色ノ焰ヲ舉テ燃燒シ溫度

十五度ニ於テ〇・七九三八ノ比重ヲ有シ七十八、四度ニ於テ沸騰ス水依
的兒、噶囉仿謨、硫化炭素等ニハ隨意ノ比例ヲ以テ溶解シ又樹脂、脂肪、揮
發油等ヲ溶解シ蛋白質ヲ凝固ス

酒精ハ亞爾個保兒ニ水ノ混溶シタルモノニシテ其比重ハ水ノ多寡ニ由テ等差アリ
左ニ亞爾個保兒ノ%ニ對スル比重ヲ示サン但シ其檢定溫度ハ華氏ノ六十八度トス

亞爾個保兒	比 重	亞爾個保兒	比 重	亞爾個保兒	比 重
75	0.856	49	0.917	24	0.966
74	0.859	48	0.919	23	0.968
73	0.861	47	0.921	22	0.970
72	0.863	46	0.923	21	0.971
71	0.866	45	0.925	20	0.973
70	0.868	44	0.927	19	0.974
69	0.870	43	0.930	18	0.976
68	0.872	42	0.932	17	0.977
67	0.875	41	0.934	16	0.978
66	0.877	40	0.936	15	0.980
65	0.880	39	0.938	14	0.981
64	0.882	38	0.940	13	0.983
63	0.885	37	0.942	12	0.985
62	0.887	36	0.944	11	0.986
61	0.889	35	0.946	10	0.987
60	0.892	34	0.948	9	0.988
59	0.894	33	0.950	8	0.989
58	0.896	32	0.952	7	0.991
57	0.899	31	0.954	6	0.992
56	0.901	30	0.956	5	0.994
55	0.903	29	0.957	4	0.995
54	0.905	28	0.959	3	0.997
53	0.907	27	0.961	2	0.998
52	0.909	26	0.963	1	0.999
51	0.912	25	0.965	0	1.000
50	0.914				

亞爾個保兒	比 重
100	0.791
99	0.794
98	0.797
97	0.800
96	0.803
95	0.805
94	0.808
93	0.811
92	0.813
91	0.816
90	0.818
89	0.821
88	0.823
87	0.826
86	0.828
85	0.831
84	0.834
83	0.836
82	0.839
81	0.842
80	0.844
79	0.847
78	0.849
77	0.851
76	0.853

日本藥局方ニ曰 酒精ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ特異竄透性
ノ香氣ヲ有シ味灼クカ如ク水ニハ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和シ點火スレバ淡藍
色ノ火焰ヲ放テ燃燒ス比重〇・八三〇乃至〇・八三四ナリ」本品ハ百分中大約八十
六分ノ亞爾個保兒 (C₂H₅O) ヲ含有ス

〔貯法〕 揮發性ノ液體ナルヲ以テ玻璃樽中ニ密閉シ冷所ニ貯フベシ
〔來歴〕 本邦ニテ酒ヲ釀造セシコト神代卷ニ見ヘタリ又西洋ニテモ
古代ヨリ之ヲ知レリ舊書ニ「ア葡萄園ヲ作り葡萄酒ヲ製セシ記録ア
ルヲ見レハ已ニ耶蘇紀元前二千三百四十八年ニ酒類ヲ製造スルコト
ヲ知リタルガ如シ而シテ酒精ヲ創製セシハ亞爾那維拉那ナリ」此
人千二百年代ノ終ヨリ千三百年代ノ始メニ至ルマテ蒙伯利爾ノ醫學

校ノ學頭ナリト西國事物紀原ニ見ヘタリ

〔應用〕 酒精ハ工業技術ニ欠クベカラザル藥品ニシテ其効ハ樹脂ヲ溶解スルヲ以テ假漆ノ製造ニ供シ揮發油ヲ溶解シテ香水ヲ製シ嘔囉仿謨依的兒甘硝石精等ヲ製スルノ原料トシ或ハ酒類ノ製造酒精燈火ニ用ヒ其他諸般ノ鹽類ヲ溶解スルニ用フ

酒石酸 化學名 Tartaric acid. [化學記號] C₄H₆O₆.

〔異名〕 酒酸別名

〔所在〕 亞爾加里鹽類或ハ石灰鹽類トナリ葡萄、答麻林度、鳳梨ノ如キ果實中ニ存在スルモノナリ

〔製法〕 酒石英ノ溫溶液ニ炭酸石灰ヲ漸ニ加ヘ酸性反應ヲ呈セザルニ至レバ更ニ格魯兒加爾叟謨ヲ加ヘテ皆ナ酒石酸加爾叟謨トナシ沈降セシメ濾別シテ其沈澱ニ水ヲ加ヘ粥狀トナシ温ヲ與ヘ漸々硫酸ヲ

加ヘ分解セシメ化生シタル硫酸石灰ハ濾過シ濾液ヲ蒸發結晶シテ製スルナリ

〔性状〕 無色透明稜柱狀ノ結晶體或ハ白色結晶樣ノ粉末ヲナシ氣中ニ放置スルモ變化セズ温湯二分沸湯一分ニ溶解シ又酒精三分ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徵ス然レモ依的兒的列並底油等ニ溶解セズ之ヲ百三十七度ニ熱スレバ熔融シ尙ホ加熱スレバ分解シテ、カラメル樣ノ臭氣ヲ發ス

日本藥局方 曰 酒石酸ハ無色無臭柱狀ノ結晶ニシテ多クハ層片狀ニ集合シ或ハ白色ノ結晶粉ヲナシ等分ノ水及ヒ三分ノ酒精ニ溶解シ依的兒、嘔囉仿謨、及偏蘇爾ニハ殆ト溶解セズ燃燒スレバ砂糖ヲ燒灼スルガ如キ臭氣ヲ放ツ

〔貯法〕 玻璃櫃中ニ密閉シ貯フベシ
〔應用〕 染家ハ酒石酸ヲ漂白、捺染、拔染色上等ニ用ヒ其他鍍金術等ニ應用セラル

酒石英通名

Cream of tartar. [化學記號] $C_4H_4O_6$.

〔異名〕

重酒石酸加里名

酸性酒石酸加留謨

酒石

ケレモル

〔生成〕

酒石酸鹽類ハ葡萄、答麻林度、鳳梨ノ如キ果實中ニ含存セラレ殊ニ葡萄汁ヲ醱酵セシメテ葡萄酒ヲ製造スル際ニハ此モノ亞爾個保兒ニ不溶解ナルガ爲メ槽壁ニ沈着ス

〔製法〕

酒槽ノ内壁ニ附着スル酒石英ノ粗製品ヲ精製スルヲ通法トス其法ハ之ヲ沸湯ニ溶解シ礬土或ハ木炭ヲ加ヘ色素ヲ消褪シ濾別シテ得タル清澄液ヲ蒸發結晶シテ再精スルモノナリ

〔性状〕

白色結晶様ノ粉末ニシテ酸味ヲ有シ冷水ニ百分、沸湯十八分ニ溶解スレバ亞爾個保兒ニハ溶解セズ氣中ニ在テハ變化セザレモ濕氣ニ逢フトキハ漸々炭酸加里ニ變ス

〔貯法〕

玻璃櫃中ニ密閉シ貯フベシ

〔應用〕

酒石酸、吐酒石、酒石酸鹽類製造ノ原料トナシ或ハ染家ニ於テ

毛染ニ應用ス

酒石英ヲ毛染ニ應用スル一例ヲ示セバ毛糸、フランネル等(百分)ニ重格羅謨酸加里二、五分及ヒ酒石英二分ヲ溶解シタル液ニ浸漬シ熱スルコト一時間半ニシテ別ニ「メチール」青、ログウード越幾斯、黃木越幾斯各一分半ノ溶解液中ニ浸シ半時間煮染スルトキハ美ナル暗綠色ニ染マルモノナリ

荏油

Perillo-oil

〔產地〕

本邦ニハ神奈川、栃木、岐阜、宮城、茨城、徳島ノ諸縣ヨリ産出ス

〔基本〕

荏胡麻 *Perilla, ocimoides, L.* ノ種子中ニ大約四十%ヲ含有スル

乾燥性脂油ナリ

〔製法〕

荏子ヲ炒鍋ニテ灼燬シ黑變シタルモノ指爪ニテ壓壞シ粉碎スルニ至レバ石碓ニ投シ舂キテ粉末トナシ篩過シ其末ヲ蒸桶ニ納メ

融蒸シ壓搾機ヲ以テ搾出シテ得タル油液ヲ細川紙ニテ濾過シテ製ス
〔性状〕 類黄色油狀ノ液體ニシテ一種ノ臭氣ヲ有シ〇、九三ノ比重ヲ
 有シテ氣中ニ放置スルトキハ漸々乾燥シ水ニハ溶解セサレテ亞爾個
 保兒ニハ溶解ス

〔貯法〕 乾燥性脂油ナルヲ以テ密閉器中ニ貯フベシ

〔應用〕 提燈、雨衣、油紙ヲ製スルニ賞用セラレ或ハ澁ト混和シテ用キ
 其他蜜佗油等ヲ製造スルニ用キラル

工藝志料ニ曰 蜜佗畫ハ享保年間京師工人(其名詳ナラズ)アリ蜜佗僧ニ荏油ヲ加
 ヘ朱ヲ和シテ器物ヲ塗ル之ヲ陰先塗ト云フ其色ハ即チ淡紅色ナリ京師工人ノ蜜佗
 僧ヲ用フルハ唯器物ヲ塗ルノミニシテ畫クニアラズ其之ヲ畫ク者ハ獨リ越中ノ城
 端ヨリ出ス器物ノミ然レモ今ニ至テハ其業甚ダ微ナリ

依的兒化學 Ether (化學記號) C_2H_6O

〔異名〕 暹的兒、亞的兒、エチールエーテル、酸化エチール、

〔製法〕 依的兒ハ亞爾個保兒ニ強硫酸ヲ觸レシムルトキニ化生スル
 モノニシテ其狀ハ初メ硫酸エチール依的兒ヲ化生シ此モノ再ヒ亞爾
 個保兒ニ逢フテ硫酸ト依的兒ニ分解スルナリ故ニ依的兒ハ亞爾個保
 兒ニ強硫酸ヲ加ヘ蒸餾シテ製ス

亞爾個保兒(九十%)二十五分ニ強硫酸三十二分ヲ徐々ニ加ヘ冷却シ堅牢ナル玻璃
 罎或ハ鉛製「レトルト」中ニ納メ砂浴上ニ於テ三十度乃至四十度ノ温ヲ以テ蒸餾シ
 其留液ノ酸性ヲ呈セサル間ハ亞爾個保兒ヲ添加シテ蒸餾スベシ而シテ爰ニ得タル
 依的兒中ニハ水、亞爾個保兒、硫酸依的兒等ヲ雜有スルヲ以テ之ニ水ヲ加ヘ混攪
 シテ水分ヲ去リ更ニ石灰ヲ加ヘ放置シ後チ其上澄液ヲ三十度乃至四十度ノ温度ニ
 テ蒸餾シ精製スベシ但シ依的兒ハ點火シ易キモノナルガ故ニ之ヲ製造スル際ニハ
 發生器ト受器トハ別室ニ隔離スルヲ良シトス

〔性状〕 無色透明流動シ易キ液體ニシテ爽快ナル香氣ト灼クガ如キ

味ヲ有シ點火シ易ク燃燒スレバ光輝アル炎ヲ發ス比重ハ〇、七二乃至〇、七二五ニシテ三十五、六度ニ於テ沸騰シ水ニ僅ニ溶解スレバ亞爾個保兒揮發油等ニハ能ク溶解シ又此蒸氣ヲ嗅入スレバ麻醉シ大氣ト混和シ點火スレバ爆發ス

日本藥局方ニ曰 依的兒ハ澄明無色揮發シ易キ液ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ特異ノ香氣ヲ有ス大約三十五度ニ於テ沸騰シ酒精、氷醋酸及脂肪油ニハ隨意ノ比例ニ於テ混和ス比重ハ大約〇、七二八ナリ

〔貯法〕 揮發シ易キ液體ナルヲ以テ玻璃罎中ニ密封シ冷所ニ貯フベシ

〔來歴〕 依的兒ハ一千三百年代ニ、レイモンド、レリー、氏亞爾個保兒ノ化合物ナルコトヲ知リ一千五百四十四年、バレリウス、コーウエス、氏其製法ヲ公ニセリ而シテ依的兒ナル名稱ハ一千七百三十年、フロベル、ウス、氏ノ名命スル處ナリ

〔應用〕 依的兒ハ水及ビ亞爾個保兒ニ不溶解ナル物質ヲ溶解スルニ用キ又亞爾個保兒ト混和シ綿火藥ヲ溶解スルニ使用セラル

鹽化錫 化學 Stannous chloride.

〔化學記號〕 SnCl₂ + 2Aq

〔異名〕 第一鹽化錫、亞格魯兒錫、錫晶、錫鹽、

〔製法〕 鹽化錫ハ錫屑一分ニ純鹽酸四分ヲ加ヘ熱シテ溶解シ其清澄液ヲ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 無色針狀ノ結晶體ニシテ水、亞爾個保兒、鹽酸ニ溶解シ之ヲ大氣中ニ放置スルトキハ酸鹽化錫ト稱スル水ニ不溶解ナル物質ニ變ス又銀、水銀等ノ鹽類ニ逢フトキハ還元力強キヲ以テ其金屬ヲ析出セシムルノ性アリ

〔貯法〕 氣中ニ在テ變化シ易キ鹽類ナルヲ以テ玻璃罎中ニ密閉シ貯

フベシ

〔應用〕 重金屬鹽類ヨリ金屬ヲ析出スルノ効アルヲ以テ金屬細工ニ用ヒ又カシアス氏紫ヲ製シテ陶器顔料ニ供シ其他染家ハ之ヲ絹綿ノ媒染劑トシテ賞用ス

酸化錫ハ有機性色素ト化合シテ帶色ノ不溶解物ヲ化生スルヲ以テ染家ノ賞用スル處ナリ今其二三ニ對スル反應ヲ示サン

ログウッド……………青紫色沈澱
黄栢……………黄色沈澱
ゲレツブ……………黃金色沈澱

鹽酸 化學 Muriatic acid. (化學記號) HCl + xaq

〔異名〕 鹽化水素酸、格魯兒水素酸、海鹽精、鹽精

鹽酸トハ鹽化水素酸 HCl ヲ水中ニ溶解シタル溶液ヲ云フナリ

〔製法〕 工業用鹽酸ハ曹達製造所ニ於テ食鹽ニ硫酸ヲ加ヘ硫酸曹達

ヲ製スルノ際ニ傍生スル鹽化水素酸ヲ水中ニ溶解シテ製ス

昔時曹達製造所ニ於テ傍生スル鹽化水素酸ハ煙筒ヨリ大氣中ニ逃散セシメタリシガ製造所近傍ノ人畜及ヒ植物ニ害アルヲ以テ遂ニ此瓦斯ヲ大氣中ニ逃散スルヲ禁シタリ故ニ同製造所ニ於テハ別ニ鹽化水素酸ヲ吸収スル高塔ヲ設置セリ此塔ハ石材或ハ煉瓦ニテ築造セラレ中ニ骸炭ヲ充實シ下端ヨリ瓦斯ヲ送り頂上ヨリ水ヲ細雨トナシ降下セシメ瓦斯ヲ水中ニ溶解セシメタリ而シテ此溶解液ハ漂白粉製造或ハ碳酸瓦斯製造ニ應用シ其他工業用鹽酸ヲ製スルニ用フ

特ニ鹽酸ヲ製造スルニハ乾燥食鹽十分ニ強硫酸十八分及ヒ水二分ヲ加ヘ一夜ヲ經テ後チ熱シ發生スル鹽化水素酸ヲ洗滌櫃中ヲ通過シ更ニ餾水ヲ充テタル櫃中ニ吸收溶解セシメテ製ス

〔性状〕 工業用鹽酸ハ淡黄色透明ノ液體ニシテ刺戟性ノ臭氣ヲ有シ酸性ノ反應ヲ徴シテ大氣ニ觸ルレバ白煙ヲ發ス比重ハ一・一〇乃至一・一六ニシテ諸金屬ヲ溶解スルノ性アリ

純鹽酸 *Pure muriatic acid* ハ無色透明刺戟性ノ液體ニシテ一、二一ノ比重ヲ有シ
 中ニ鹽化水素酸ノ四十二%ヲ含有ス

鹽酸ハ鹽化水素酸ノ水溶液ナルヲ以テ其含量ニ由リ比重ヲ異ス故ニ「ドクトル、ウ
 ーレエ」氏ノ檢定シタル鹽酸ノ含量ト比重トノ對照表ヲ左ニ示サン

鹽酸 ノ含量 五斯	比 重	鹽酸 ノ含量 五斯	比 重	鹽酸 ノ含量 五斯	比 重
30.582	1.1000	20.388	1.0497	10.194	
30.174	1.0980	19.980	1.0477	9.786	
29.764	1.0960	19.572	1.0457	9.379	
29.359	1.0939	19.165	1.0437	8.971	
28.951	1.0919	18.757	1.0417	8.563	
28.544	1.0899	18.349	1.0397	8.155	
28.136	1.0879	17.941	1.0377	7.747	
27.728	1.0859	17.534	1.0357	7.340	
27.321	1.0838	17.126	1.0337	6.932	
26.913	1.0818	16.718	1.0318	6.524	
26.505	1.0798	16.310	1.0298	6.116	
26.098	1.0778	15.902	1.0279	5.709	
25.690	1.0758	15.494	1.0259	5.301	
25.282	1.0738	15.087	1.0239	4.893	
24.874	1.0718	14.679	1.0220	4.486	
24.466	1.0697	14.271	1.0200	4.078	
24.058	1.0677	13.863	1.0180	3.670	
23.650	1.0657	13.456	1.0160	3.262	
23.242	1.0637	13.049	1.0140	2.854	
22.834	1.0617	12.641	1.0120	2.447	
22.426	1.0597	12.233	1.0000	2.039	
22.019	1.0577	11.825	1.0080	1.631	
21.611	1.0557	11.418	1.0060	1.224	
21.203	1.0537	11.010	1.0040	0.816	
20.796	1.0517	10.602	1.0020	0.408	

比 重	ノ含量 鹽酸 五斯	比 重
1.2000	40.777	1.1515
1.1982	40.369	1.1494
1.1964	39.961	1.1473
1.1946	39.554	1.1452
1.1928	39.146	1.1431
1.1910	38.738	1.1410
1.1893	38.330	1.1389
1.1875	37.923	1.1369
1.1857	37.516	1.1349
1.1846	37.108	1.1328
1.1822	36.700	1.1308
1.1802	36.292	1.1287
1.1782	35.884	1.1267
1.1762	35.476	1.1247
1.1741	35.068	1.1226
1.1721	34.660	1.1206
1.1701	34.252	1.1185
1.1681	33.845	1.1164
1.1661	33.437	1.1143
1.1641	33.029	1.1123
1.1620	32.621	1.1102
1.1599	32.213	1.1082
1.1578	31.805	1.1061
1.1557	31.398	1.1041
1.1536	30.990	1.1020

日本藥局方ニ曰 鹽酸ハ澄明無色ノ液ニシテ氣中ニ於テ白霧ヲ放チ熱ニ逢フテ全
 ク揮散ス比重ハ一、一五ナリ「粗製鹽酸ハ氣中ニ於テ白霧ヲ發スル澄明ノ液ニシテ
 多クハ類黃色ヲ有シ比重大約一、一六ナリ

〔成分〕 工業用鹽酸ト稱シ販賣スルモノハ純品ニアラズシテ中ニ鹽
 化水素酸ノ三十乃至三十二%ヲ含有シ汚物トシテハ鹽素、砒素、硫酸、鐵
 等ヲ雜有ス

〔貯法〕 玻璃罎中ニ密閉シ冷所ニ貯フベシ

〔來歴〕 鹽酸ハ一千五百年代「バンチン」氏初メテ之ヲ製シ一千六百

年代「クロベル」氏食鹽ニ硫酸ヲ加ヘテ之ヲ製造シ一千七百七十二年、
 リストレー「氏純粹ノ鹽化水素酸ヲ製シタリ」
〔應用〕 單味或ハ硝酸ト混和シテ王水トナシ諸金屬ヲ溶解スルニ用
 キ雪ト混和シテ起冷合劑ヲ造リ其他化學製品、鑛物分析、鑛着術等ニ應
 用セラル、工業上有要ノ酸類ナリ

鹽酸加里 化學名 Chlorate of potash.

〔化學記號〕 KClO₃

〔異名〕 鹽素酸剝篤亞斯別名 格魯兒酸加留謨 鹽剝略名

〔製法〕 苛性加里溶液中ニ鹽素瓦斯ヲ通シ鹽酸加里及ヒ格魯兒加留
 謨ヲ製シ其溶液ヲ蒸發シ結晶法ニヨリ區分シテ製ス

工業上鹽酸加里ヲ製スルニハ石灰及ヒ水ノ混和物ニ鹽素瓦斯ヲ通シテ先ツ次亞鹽
 酸石灰ヲ造リ之ヲ熱シ鹽酸石灰トナシ其上澄液ニ格魯兒加留謨ノ熱溶液ヲ加ヘ蒸

發結晶シテ製ス

〔性状〕 白色板狀ノ結晶體ニシテ不快清涼ノ味ヲ有シ水、温湯ニ溶解
 スレハ酒精ニハ不溶解ナリ華氏七百五十度ニ熱スレバ熔融シ尙ホ熱
 スルトキハ酸素瓦斯ヲ發生ス又硫黃、硫化物ト和シ研磨スルトキハ爆
 鳴ヲ發ス

鹽酸加里ハ冷水ヨリ温湯ニ溶解シ易キモノニシテ今水百分ニ對シ溶解スル鹽酸加
 里ノ%ヲ左ニ示サントス但シ温度ハ華氏ヲ用フ

三十二度ノ水	三、三三%	九十五度ノ水	一一、〇五%
五十六度ノ水	五、六〇%	百二十 ^三 / _度 ノ水	一八、九六%
二十七 ^三 / _度 ノ水	六、〇三%	百六十六 ^三 / _度 ノ水	三五、四〇%
七十六度ノ水	八、四四%	二百二十 ^三 / _度 ノ水	六〇、二四%

日本藥局方ニ曰 格魯兒酸加留謨ハ光澤アル無色ノ小板狀結晶ニシテ中性ノ反應

ラ微シ氣中ニ於テ變化セズ十七分ノ水及三分ノ沸湯ニ溶解シ可燃性ノ物質ニ研和スレバ爆發ス

〔貯法〕 密閉器中ニ貯フベシ

〔應用〕 煙火術、燐枝、其他ノ發火藥トナシ或ハ工業技術上酸化藥トシテ賞用セラル

黄色焰火 Yellow fire. 焰火術ニ於テ火焰ヲ黄色ヲ染ムル配劑量ノ一ヲ示セバ

鹽酸加里……………十二分
樟酸曹達……………十分
硬脂……………一分
硫黃……………一分

蓖麻子油 名通 Castor-oil.

〔異名〕 蓖麻油、リチ子油、カストル油、

〔產地〕 亞米利加、南部歐羅巴、及ヒ東印度ニ産シ本邦ニテモ各地ヨリ之ヲ産出ス

〔基本〕 熱帶地方ハ灌木ヲナシ温帶地方ハ一年草ヲナス唐胡麻 Ricinus communis, L. ノ種子中ニ大約五十%ヲ含有スル乾燥性脂油ナリ

〔製法〕 蓖麻子ヲ鐵鍋ニ入レ水ヲ加ヘテ煮沸シ水ヲ換ユルコト數回ニシテ其水ノ帶色セサルニ至レバ此種子ヲ壓搾器ニテ油分ヲ壓搾ス然ルトキハ初メ濁液ヲ出シ後チ白色透明ノ液ヲ得ルヲ以テ此白色液ヲ取り水ヲ加ヘテ熱スレバ其中ニ含有スル護膜質、糖分等ハ水中ニ溶解シ蛋白質ハ凝固ス由テ其水ヲ去リ尙ホ水ヲ加ヘ徐々ニ熱シ水蒸氣トナシ發散スレバ油中ニ含有スル辛烈ナル揮發分モ共ニ揮散シ殘ニ純蓖麻子油ヲ得ルナリ

〔性状〕 無色或ハ淡黄色油様ノ液體ニシテ微ニ臭氣ヲ有シ味ハ舌ヲ爪搔スルガ如キ感アリ、互寒ニ逢フモ凝固セズ比重ハ〇、九六一一ニシテ亞爾個保兒、依的兒、水醋酸等ニ溶解シ又氣中ニ放置スルトキハ漸々ニ乾涸變性ス

日本藥局方ニ曰 蓖麻子油ハ皮殼ヲ除キタル *Ricinus communis*, Linn. ノ種子ヨリ
 壓搾シテ得タル澄明微黃色濃厚ノ脂肪油ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ零度ニ於テ
 ハ濃稠トナリ或ハ溷濁シ廻カニ低温ニ至レバ乳脂様ニ凝結ス味ハ初メ緩和ニシテ
 後稍ニ苛辣ナリ純酒精及氷醋酸ニハ隨意ノ比例ニ於テ酒精ニハ一乃至三分ニ溶解
 ス比重〇、九五乃至〇、七九ナリ

〔成分〕 蓖麻子油ハリチノール酸、虞里斯林依的兒ヨリ組成セラレ中
 ニ硬脂酸ノ少量ヲ含有ス

〔應用〕 工業上專ラ乾燥脂油トシテ假漆、印肉油、ロード油等ノ製造ニ
 用キラル

昔時ヨリ使用スル朱肉ハ蓖麻子油ヨリ製スルモノニシテ其配合劑ハ左ノ藥品ヲ用
 ヒ之ヲ熱シ泡沫ノ消ユルヲ度トシ殘渣ヲ去リ其百分ニ精製朱五十分及ヒ晒艾適量
 ヲ和シ煉合シテ製ス

蓖麻子油……………百分
 燒明礬……………五分

皂角子……………四十分
 白蠟……………五分
 生姜……………少許

砒石通名 Arsenic (化學記號) As₂O₃

〔異名〕 亞砒酸化學名 無水亞砒酸、三酸化砒素、白砒石、譽石、

砒霜、砒粉、毒粉、彌須美已呂之、

〔產地〕 本邦ニテハ岩手、新瀉、山口、兵庫、茨城ノ諸縣下ヨリ產出ス

〔所在〕 天然ニ特生スルモノヲ譽石ト唱ヘ直チニ使用スレモ多クハ
 之ガ基本トナルベキ鑛石ヨリ製スルモノニシテ其主ナル鑛石ハ硫化
 砒鑛(毒砂) *Arsenopyrite*. 及ヒ砒化鐵鑛(輝毒砂) *Lencopyrite*. 等ナリ

〔製法〕 冶金術上ニ於テ金屬ヲ製スル際ニ副生スル物質ニシテ即チ
 砒素含蓄ノ鑛石ヲ焙燒スルトキハ砒素空中ノ酸素ト化合シテ亞砒酸
 トナリ揮散スルヲ以テ之ヲ密閉冷却室内ニ導キ濃縮セシム然ルトキ

ハ亞砒酸ハ凝結シテ室壁ニ凝着スルヲ以テ採取スルナリ
 當今亞砒酸ヲ亞尼林色素製造ニ使用スルコト多額ナルヲ以テ傍生スル砒酸ヲ亞砒
 酸ニ復生セシム即チ其残渣ニ石灰ヲ加ヘ砒酸石灰トナシ沈降セシメ之ヲ乾燥シ木
 炭ト共ニ熱灼シ還元セラレテ揚發スル亞砒酸蒸氣ヲ濃縮シテ製ス
 我國ニテ砒石ヲ製造スルノ法ハ甚タ粗畧ナルモノニシテ先ツ其鑛石ヲ窯内ニ納メ
 濕薦ヲ以テ覆ヒ煨燒スルコト大約三週間ナレバ亞砒酸蒸氣ハ鬱結スルヲ以テ之ヲ
 採取スルニアルノミ故ニ一名ヲ砒霜ト云フ

〔性状〕 專ラ市中ニ販賣スルモノハ白色無臭結晶様ノ粉末或ハ塊片
 ナレモ時トシテ透明緻密ノ無臭塊ヲナスモノアリ稍ト甘味アリテ二
 百度ノ熱ヲ受クレバ白煙トナリテ揮散シ比重ハ三、五乃至三、六ナリ冷
 水二百五十五分沸湯百八分ニ溶解シ又鹽酸及ヒ炭酸亞爾加里溶液ニ
 ハ容易ニ溶解スレモ亞爾個保兒依的兒、噶囉仿謨等ニハ僅ニ溶解スル
 ノミ

日本藥局方ニ曰 亞砒酸ハ白色多少透明或ハ瓷質様ノ塊片或ハ白色ノ粉末ニシテ
 十五分ノ沸湯ニハ徐々ナルモ全ク溶解シ木炭上ニ熱スレバ蒜臭ヲ放チテ揮散ス
 〔貯法〕 毒物ナルヲ以テ密閉器中ニ注意シテ貯フベシ
 〔來歴〕 砒石ハ毒藥トシテ古代ヨリ世ニ知ラレタル物質ニシテ洋書
 ニ由レバ已ニ七百年代「ゲーベル」氏硫化砒素ヲ熱灼シテ製造シタリト
 アリ
 〔應用〕 亞尼林色素、顔料及ヒ合金ノ製造ニ賞用セラレ其他製皮并ニ
 玻璃製造等ニ應用セラル、工業藥品ナリ

木賊 名通 Dutch-rush.

〔異名〕 銚草、トクサ、
 〔產地〕 本邦ニテ京都、長野ノ諸府縣ヨリ多量ニ産出ス
 〔基本〕 木賊ハ山谷水邊ノ地ニ自生シ或ハ家園ニ栽植スル處ノとく

Equistum yhemela. L. ノ葉莖ナリ

〔形状〕 葉莖ハ一株ヨリ叢生シ高サ二三尺太サ二分許綠色ヲ呈ス一二寸毎ニ關節ヲ有シ之ニ黒鞘アリテ内部ハ空虚ナリ使用品ハ此葉莖ヲ鹽水ニテ煮沸シ水洗乾燥シタルモノナルカ故ニ類黃色ヲ呈シ縦ニ堅キ凸線アリ

木賊ノ販賣品ハ一個ヲ百二十連(百連及ヒ百四十連ノモノナリ)トシ一連ヲ五十束トナシ且ツ十個宛連束シタルモノナリ

〔應用〕 専ラ木竹象牙其他ノ物品ヲ琢磨スルニ使用セラル

青酸加里 化學名 *Cyanide of potash*. (化學記號) **KCy.**

〔異名〕 青化加里、藏化加留謨、シヤン加里、

〔製法〕 乾燥黃色血鹵鹽ニ乃至三分ニ炭酸加里半乃至一分ヲ混和シ坩堝ニ入レ密封シ之ヲ紅熾ス然ルトキハ分解セラレタル鐵分ハ黑色

トナリテ沈積スルガ故ニ其上澄液ヲ他器ニ傾斜シ凝結シテ製ス
青化加里ノ純精品ヲ製スルニハ苛性加里ノ亞爾個保兒溶液ニ青酸蒸氣ヲ通シ化生スル青化加里ヲ沈澱セシメテ製ス

青化曹達 *Cyanide of Soda*. 青化加里ノ如ク黃色血鹵鹽ニ炭酸曹達ヲ混和シテ製造ス原來炭酸曹達ヲ用フルトキハ炭酸加里ヨリ廉價ナルノミナラズ強熱ヲ用セズ且ツ製造セラレタル青化曹達ハ青化加里ヨリ氣中ニ在テ潮解シ易カラサルノ便益アルモノナリ

〔性状〕 販賣品ハ多ク白色ノ粉末或ハ槌狀ノ固體ヲナシ其純精品ハ白色ノ骰子形結晶體ヲナス一五ノ比重ヲ有シ水ニハ容易ニ溶解シテ亞爾加里性ノ反應ヲ呈スレモ沸騰亞爾個保兒ニハ溶解セズ之ヲ氣中ニ放置スレバ潮解スルノミナラズ漸次炭酸瓦斯ヲ攝收シテ青酸ヲ游離ス又此水溶液ヲ黃金或ハ銀鹽類ノ溶液ニ加フルトキハ其過量ニ溶解スル青化物ヲ沈澱ス

〔貯法〕 氣中ニ潮解スルノミナラズ炭酸加里ニ變生スルノ性アルヲ以テ密閉器中ニ納メ注意シテ冷所ニ貯フベシ

〔來歴〕 青化加里ハ一千七百八十年、スチール氏ノ發見スル處ニシテ其性質ハ一千八百四十一年ニ、リービツク氏ニ由テ詳明セラレタリ

〔應用〕 青化黃金、青化銀等ヲ製スルノ目的ヲ以テ瓦爾華尼鍍金術ニ用ヒラル、又鹽化銀、沃化銀、臭化銀等ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ寫真術ニ用キラル

セルラック 名通 Shellac.

〔異名〕 セラック、シケルラック、ラック

〔產地〕 主ニ東印度地方ヨリ産出ス

〔基本〕 「セルラック」ハ *Aleurites lacifera* 及ヒ其他ノ樹幹ニ一種ノ雌蟲刺螫シ卵ヲ殖置スルトキ病的作用ニ由リ其部漸次膨大シ遂ニ褐赤色

ノ樹脂ヲ漏出スルモノナリ依テ之ヲ採取シ赤色素ヲ除去シ一度之ヲ溶解シ鑄テ薄片ニ製ス

〔性状〕 精品ハ淡黄色或ハ暗褐色脆弱ノ薄片ヲナシ時トシテ桿狀或ハ顆粒狀等ヲナシ水ニ溶解セザレモ亞爾個保兒的列並底油等ニハ能ク溶解ス然レモ採取後年月ヲ經タルモノハ稍々溶解シ難シ

〔應用〕 専ラ假漆製造ノ材料ニ供セラレ其他烟火術等ニ用ヒラル

金ニス *Gold-ornish* ハ真鍮面ニ塗髹シ之ヲ鮮美ナラシムルニ賞用スル色假漆ニシテ其配合劑ノ一ヲ示ストキハ左ノ如シ

セルラック……………十二分 藤黄……………半分
 麒麟血……………半分 酒精……………三十分

攝涅瓦爾護謨 名通 Senegal-gum.

〔產地〕 亞弗利加ノ西部攝涅瓦爾地方ヨリ産出シ之ヲ佛國ニ輸送ス

〔基本〕 攝涅瓦爾護謨ハ合歡科植物ノ *Acacia senegal*, Willd. 樹ヨリ漏出
スル津汁ノ乾涸シタル護謨質ナリ

〔性状〕 多ク白色球形ノ固塊ヲナシ外面ニ皺襞アリテ玻璃様ノ光
澤ヲ有ス水ニハ稍々溶解シ難ケレモ其他ノ性質ニ至テハ亞拉昆亞護
謨ニ全シク其溶液ハ粘力亞拉昆亞護謨ヨリ強シ

〔成分〕 攝涅瓦爾護謨ノ組成分ハ一定シタルモノニアラザレモ其分
析シタル一ヲ示スキハ左ノ如シ

アラビン……八・二〇% 水分………一・六% 土質分………二・〇—三・〇%

〔應用〕 亞拉昆亞護謨ト同一ノ目的ニ使用セラレ殊ニ捺染術ニ使用
セラル

昇汞 名通 *Bichloride of mercury*. (化學記號) $HgCl_2$

〔異名〕 猛汞、生々乳、鹽化汞、格魯兒化水銀、ソツピル、

過格魯兒汞、

〔製法〕 硫酸汞或ハ硝酸汞ニ食鹽ヲ加ヘ熱シテ昇華シ製ス

水銀ヲ磁皿ニ入レ硝酸ヲ加ヘ水銀ノ全ク溶解スルニ至テ蒸發乾涸シ其二乃至三分
ニ食鹽一分ヲ加ヘ能ク研和シテ磁鍋ニ盛リ熱シ水蒸氣及ヒ酸性蒸氣ノ發生セサル
ニ至リ鍋上ニ磁皿ヲ覆ヒ間隙ヲ密封シ漸次熱ヲ高ムレバ昇華シテ磁皿上ニ凝着ス

〔性状〕 白色半透明ノ固塊ヲナシ腐蝕性ノ味ヲ有シ二百六十五度ニ
熱スレバ熔融シ二百九十五度ニテ揮散ス冷水十三分、沸湯三分ニ溶解
シ又亞爾爾保兒及ヒ依的兒ニ溶解シテ酸性ノ反應ヲ呈ス之ヲ日光ニ
燭レシムルトキハ漸々分解シテ甘汞ニ變ス

日本藥局方ニ曰 昇汞ハ白色透映重キ放線狀ノ結晶塊片或ハ鍼狀結晶或ハ白色結
晶性ノ粉末ヲナシ十六分ノ水、三分ノ沸湯、三分ノ酒精、及四分ノ依的兒ニ溶解
シ其溶液ハ酸性ノ反應ヲ徵ス之ニ格魯兒那篤留謨ヲ加フレバ中性トナル

〔貯法〕 氣中ニ在テ漸々分解スルノ性アルヲ以テ密閉器ニ入レ暗處

ニ貯フベシ

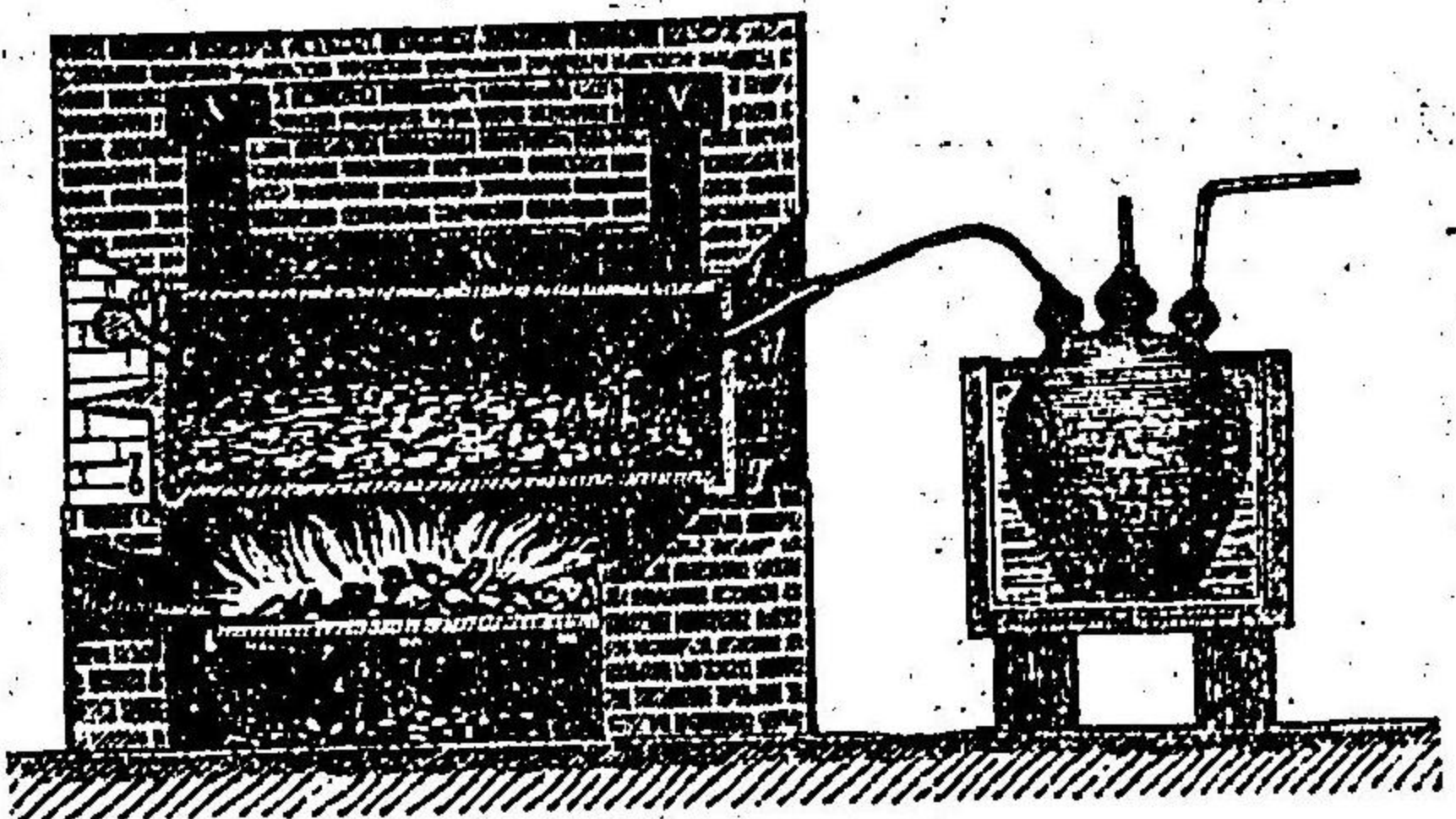
〔來歴〕 昇平ハ巳ニ七百年代ニ「ゲーベル」氏ノ製造スル處ニシテ其性質ハ一千八百〇九年「デウキー」氏ニ由テ詳明セラレタリ

〔應用〕 水銀鹽類ノ製造及ヒ金銀ノ精煉ニ用ヒ其他鍍金術、寫真術、染色術等ニ應用セララル

硝酸 化學名 Nitric acid. (化學記號) $\text{HNO}_3 + x\text{Aq}$

〔異名〕 硝石精、硝強水、ステレキワートル、

〔製法〕 硝石或ハ智利硝石ニ強硫酸ヲ加ヘ微温ヲ與ヘ蒸餾シテ製ス
工業上硝酸ヲ多量ニ製造スルニハ左圖ニ示スガ如ク鑄鐵製堅牢ノ筒罐(G)中ニ智利硝石末ヲ入レAc管ヨリ強硫酸ヲ加ヘ漸次加熱スルルハ硝酸ハ蒸氣トナリテF管ヨリ豫メ冷却シ置キタル陶壺(A)中ニ來リ冷却セラレ液化スルヲ以テ之ヲ他器ニ移シテ工業用ニ供ス



工業用硝酸ヲ精製スルニハ之ヲ玻璃製「レトルト」ニ入レ硝石少量ヲ加ヘ砂鍋ニ置キ漸々熱スレバ硝酸ハ蒸氣トナリ發出スルヲ以テ受器中ニ導キ冷却シテ精製ス

發烟硝酸 *Fuming nitric acid.* ハ硝石ニ澱粉少許ヲ加ヘ硫酸ヲ注キ蒸餾シテ製スル透明赤褐色ノ液體ニシテ一、五ノ比重ヲ有シ大氣ニ觸ルレバ甚タシク發烟シ殊ニ酸素ヲ放出シ易キヲ以テ酸化劑トシテ賞用セラル

〔性状〕 工業用硝酸ハ淡黄色透明ノ液體ニシテ刺戟性ノ臭氣ヲ有シ皮膚ニ觸ルレハ之ヲ黄染シ氣中ニ於テ發烟シ水ニハ隨意ノ比例ニ混和シ比重ハ一、四乃至一、五ニシテ白金及ヒ黃金ヲ除ク他ノ金屬ヲ溶解シ其際亞硝酸瓦斯ヲ發生ス

純硝酸 *Pure nitric acid* は無色透明ノ液體ニシテ攝氏十五度半ニ於テ一、五一七ノ比重ヲ有シ其沸騰點ハ八十四、五度ナリ
 硝酸ハ能ク水ニ溶解シ其強度ハ硝酸ノ含量即チ比重ニ關係ス今硝酸ノ強度ニ於ケル比重ト%トノ比率ヲ左ニ示ス

硝酸%	比重	硝酸%	比重	硝酸%	比重
75	1.4189	50	1.2947	25	1.1403
74	1.4147	49	1.2887	24	1.1345
73	1.4107	48	1.2826	23	1.1286
72	1.4065	47	1.2765	22	1.1227
71	1.4023	46	1.2705	21	1.1163
70	1.3978	45	1.2644	20	1.1109
69	1.3945	44	1.2583	19	1.1051
68	1.3882	43	1.2523	18	1.0993
67	1.3833	42	1.2462	17	1.0935
66	1.3783	41	1.2402	16	1.0878
65	1.3732	40	1.2341	15	1.0821
64	1.3681	39	1.2277	14	1.0764
63	1.3630	38	1.2212	13	1.0708
62	1.3579	37	1.2148	12	1.0651
61	1.3529	36	1.2084	11	1.0595
60	1.3477	35	1.2019	10	1.0540
59	1.3427	34	1.1958	9	1.0485
58	1.3376	33	1.1895	8	1.0430
57	1.3323	32	1.1833	7	1.0375
56	1.3270	31	1.1770	6	1.0320
55	1.3216	30	1.1709	5	1.0267
54	1.3163	29	1.1648	4	1.0212
53	1.3110	28	1.1587	3	1.0159
52	1.3056	27	1.1526	2	1.0106
51	1.3001	26	1.1465	1	1.0053

日本藥局方ニ曰 硝酸ハ澄明無色ノ液ニシテ熱ニ逢フテ全ク揮散ス比重一、三一七ナリ「發烟硝酸ハ澄明褐色ノ液ニシテ大氣ニ觸ルレバ窒息性ノ赤色蒸氣ヲ放ツ比重大約一、五ナリ」

硝酸%	比重
100	1.5000
99	1.4980
98	1.4960
97	1.4940
96	1.4910
95	1.4880
94	1.4850
93	1.4820
92	1.4790
91	1.4760
90	1.4730
89	1.4700
88	1.4670
87	1.4640
86	1.4600
85	1.4570
84	1.4530
83	1.4500
82	1.4460
81	1.4424
80	1.4385
79	1.4346
78	1.4306
77	1.4269
76	1.4228

〔成分〕 工業用硝酸ハ中ニ硝酸 (HNO₃)ノ五十乃至六十%ヲ含有シ汚物トシテハ鐵、亞硝酸、鹽酸、硫酸等ヲ雜有ス

〔貯法〕 玻璃罎ニ入レ密閉シ冷所ニ貯フベシ

〔來歴〕 硝酸ハ已ニ七百年代「ゲーベル」氏硝石ニ明礬及ヒ綠礬ヲ加ヘ

熱シテ製造シタルモノナリ

〔應用〕 諸金屬殊ニ銀ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ金銀ノ分析ニ賞用シ又製藥術ニ於テ火綿、硝基偏蘇兒、硝基屈里斯林、ピクリン酸、硝酸鹽類

及ヒ酸化物ヲ製造スルニ用ヒ其他酸化力強大ナルヲ以テ藍拔キ及ヒ木竹等ヲ着色シ或ハ金屬細工用等ニ應用セラル

硝酸拔留謨 化學名 Nitrate of baryta.

(化學記號) Ba(NO₃)₂

〔異名〕 硝酸重土別名 硝酸銀

〔製法〕 天産ノ炭酸重土礦ヲ取り粉碎シ之ニ硝酸ヲ加ヘ炭酸瓦斯ノ發生止ムニ至テ之ヲ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 白色八面形ノ結晶體ヲナシ冷水八分、沸湯三分ニ溶解シ亞爾個保兒ニハ溶解セズ又硝酸ニハ溶解シ難キヲ以テ其水溶液ニ硝酸ヲ加フレハ爲メニ結晶様ノ粉末ヲ沈降ス火焰中ニ入ルレバ其焰ヲ綠色ニ染ムルノ性アリ

〔應用〕 煙火術ニ於テ火焰ヲ綠染スルニ用キ又分析術等ニ賞用セラ

ル、藥品ナリ

綠色焰火 *Green fire*. 煙火術ニ於テ焰火ヲ綠色ニ染ムル硝酸拔留謨ノ配合量ノ一ヲ示セハ左ノ如シ

乾燥硝酸拔留謨	……………	十五分	硫黃	……………	十五分
鹽酸加里	……………	十分	油煙	……………	二分半

硝酸鐵 通名 Nitrate of iron.

市中ニ硝酸鐵ト通稱シ販賣スルモノハ鐵屑ヲ硝酸ニ溶解シテ製スル純然タル硝酸鐵ニアラズシテ綠礬即チ第一硫酸鐵ヲ酸化セシメテ得ル處ノ第二硫酸鐵 $Fe_2(SO_4)_3$ ニシテ其多クハ鹽基性鹽ヲナスモノナリ

〔製法〕 硝酸鐵ヲ多量ニ製造スルニハ漏斗及ヒ管ヲ具備セル有蓋陶製瓶ニ細末綠礬八十分ヲ入レ漏斗ヨリ硝酸十乃至十五分硫酸六乃至七分及ヒ水少許ヲ漸次ニ注入シ全ク赤褐色ノ蒸氣ヲ發生セサルニ至

レバ之ヲ操作ノ終結點トス

前法ノ他ハ綠礬五磅ヲ粉末トナシ之ニ硝酸(比重一、三)一磅ヲ徐々ニ加ヘ能ク攪拌シ一晝夜ヲ放置ス然ルトキハ全ク溶解シテ硝酸鐵トナル但シ硝酸滴加ノ際ハ惡臭アル赤褐色ノ蒸氣ヲ發生スルヲ以テ之ヲ室外ニ處理スルヲ良シトス

〔性状〕 暗褐色油様ノ液體ニシテ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ過量ノ水ヲ加フルカ或ハ安母尼亞水ニ逢フキハ赤褐色ノ水酸化鐵ヲ沈降ス

〔貯法〕 密閉器ニ入レ冷所ニ貯フベシ

〔應用〕 硝酸鐵ハ染色術ニ賞用スル媒染劑ノ一ニシテ殊ニ絹ノ黒染ニ用キラル

本品ヲ媒染劑ニ應用スル際其液甚シク酸性ナルトキハ纖維ヲ害スルガ故ニ通例之ニ安母尼亞水ヲ加ヘテ生スル處ノ水酸化鐵ヲ取り之ヲ加ヘ溶解シテ中和スルモノナリ

硝酸銀 化學 Nitrate of silver. [化學記號] AgNO₃

〔製法〕 銀ヲ硝酸ニ溶解シ其溶液ヲ蒸發結晶シテ製ス

通常ノ銀塊中ニハ銅鐵鉛等ヲ雜有スルヲ以テ之ヲ硝酸ニ溶解シ熱シテ蒸發乾燥シ尙ホ注意シテ加熱スレバ雜有スル銅鐵鉛ハ酸化シ化合物ニ變スルヲ以テ之ヲ冷却シ水ヲ加ヘテ溶解シ濾別シテ濾液ヲ蒸發スルトキハ硝酸銀ハ液中ヨリ析出スルガ故ニ之ヲ取り塵埃ナキ處ニ於テ乾燥シテ製ス

〔性状〕 無色透明板狀ノ結晶體ヲナシ熔融シタルモノハ固塊ヲナシ破砕面ハ纖維狀ヲ呈ス熱スレバ熔融シ紅熾熱以上ニ至レバ分解ス冷水一分沸湯半分沸騰亞爾爾個保兒四分ニ溶解シ氣中ニ放置スルモ變化ス然レモ若シ有機物アルトキハ直チニ分解ス故ニ皮膚ニ觸ルレバ其部ヲ黒變ス其溶液ニ磨キタル銅片ヲ投スレバ之ヲ鍍銀シ鹽酸或ハ鹽化物ヲ加フレバ白色ノ鹽化銀ヲ沈降シ又靑酸加里溶液ヲ加フルキハ

其過量ニ溶解スル白色ノ青化銀ヲ沈降ス

日本藥局方ニ曰 結晶硝酸銀ハ無色板狀ノ結晶ニシテ〇、六分ノ水、十二分ノ酒精ニ溶解スル熔融硝酸銀ハ白色或ハ帶灰白色ノ小挺子ニシテ其破折面ハ放線狀ノ結晶紋理ヲ現ハシ之ヲ熱スレバ熔融ス

〔貯法〕

日光ニ觸レ殊ニ塵埃等ニ逢フ片ハ分解スルヲ以テ有色玻璃櫃ニ納メ暗處ニ貯フベシ

〔來歴〕

硝酸銀ハ七百年代ニ有名ノ「ゲーベル」氏ニ由リ詳明セラレタル一鹽類ナリ

〔應用〕

寫真術、鍍金術ニ實用セラル、藥品ニシテ其他蠅除玉、玻璃鏡ヲ製スルニ用キ或ハ記號「インキ」ノ製造ニ供スル等實ニ需用ノ擴キ藥品ナリ

寫真術ニ於テ硝酸銀ヲ用フルハ卵白紙及ヒ濕板ニ感光力ヲ起サシメ或ハ乾板ノ感光膜ヲ製スルニ用フ而テ感光力ヲ發起セシムルニハ此硝酸銀ヲ「コロヂヤン」中ニ

含ム處ノ沃度或ハ卵白紙中ニ含ム處ノ鹽素ト化合セシメ沃度銀或ハ鹽化銀トナスナリ

鍍金術ニ於テ硝酸銀ヲ使用スルハ青酸銀ノ青酸加里溶液ヲ用フルニアリ今銀ヲ電池ヲ用キス簡易ニ鍍銀スル法ヲ示セバ先ツ硝酸銀液ニ青化加里液ヲ加ヘ白近ヲ製シ更ニ其過量ヲ加ヘ此白近ヲ溶解シタル液中ニ鍍銀スベキ琢磨シタル金屬器物ヲ没シテ更ニ亞鉛片少許ヲ入ルヘシ然ルトキハ液ニ電流ヲ生シ暫時ニシテ銀ヲ其面ニ鍍着スルコトヲ得ルモノナリ

硝酸斯篤倫胃謨 化學 Nitrate of strontia.

〔化學記號〕 $Str(NO_3)_2$

〔異名〕

硝酸錫別名 ストロンチヤン、

〔製法〕

硝酸拔留謨ノ如ク天產炭酸錫礦ニ硝酸ヲ加ヘ溶解シ其溶液ヲ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 無色透明八面形ノ結晶體ヲナシ氣中ニ在テ容易ニ潮解シ冷水五分沸湯半分ニ溶解スレモ亞爾個保兒ニ溶解セズ之ヲ火焰中ニ入ル、トキハ其焰ヲ鮮紅色ヲ染ム

〔貯法〕 氣中ニ在テ潮解スルガ故ニ玻璃櫃中ニ密封シ貯フベシ

〔應用〕 專ラ煙火術ニ於テ焰火ヲ紅色ニ染ムルニ賞用ス

烟火用ニ供スル藥品ハ細末ニシテ乾燥スルヲ要ス故ニ市中ニ販賣スルモノヲ取テ直チニ配合スルモ往々發烟セザルコトアリ爰ヲ以テ硝石、硝酸斯篤倫胃謨、硝酸拔留謨等ハ水分ヲ含蓄スルガ故ニ先ツ土鍋類ニ是等ノ藥品ヲ入レ徐々ニ熱シ液化シタルモノヲ尙ホ熱シ全ク水分蒸散スルニ至レバ遂ニ白色ノ粉末トナル以テ之ヲ烟火ニ用フベシ

紅色焰火 *Red fire*. 烟火術ニ於テ火焰ヲ紅色ニ染ムル硝酸斯篤倫胃謨ノ配合量ノ一ヲ示ストキハ左ノ如シ

乾燥硝酸斯篤倫胃謨……………八十分

硫黃……………二十二分半

鹽酸加里……………二十分

油煙……………五分

硝石 漢 *Salt-petra*. (化學記號) KNO_3

〔異名〕 加里硝石、硝酸加里、硝酸加留謨、硝酸剎篤亞斯、消石

鹽石、白焰消

〔產地〕 熱帶地方殊ニ東印度及ヒ埃及等ニ産シ本邦ニハ富山、長野、石川、香川、静岡、島根、福岡、大分、山口、鹿兒島、埼玉ノ諸縣下ヨリ産出ス

〔生成〕 含窒素有機物ノ腐敗ニ傾キ其窒素漸々大氣中ノ酸素ノ爲メニ酸化セラレ遂ニ硝酸ニ變シ地中ノ亞爾加里土質ト化合シテ生スル處ノ一鹽類ナリ

東印度ノ地層ハ主ニ石灰石及ヒ炭灰泥ヨリ組成セラレ動植物ノ腐敗シテ日光、雨露、雷鳴等ノ作用ニ由リ硝化セラレタルモノ此土質ト化合シテ硝石ヲ生ズ之ヲ印度硝石ト稱シ他國ニ輸送ス

〔製法〕

熱帶地方ニ在テ硝石ヲ採集スルニハ地上ニ化生シタル硝石并ニ土質ヲ取り灰汁ヲ加ヘ水ニ溶解シ静置シテ其上澄液ヲ吸取シ蒸發結晶シテ製ス又温帶地方ニ在テハ年月ヲ經過シタル古キ屋下ノ土類ヲ取り水ニ溶解シ不溶解土質ノ器底ニ沈降スルヲ待テ上澄液ヲ吸取シ蒸發結晶セシムルナリ

硝石ノ人工法ハ硝石圃ナル一ノ製造所ヲ設ケ此處ニ含窒素有機物、植物灰及ヒ石灰ノ混和物ヲ推積シ雨露ヲ避ケ尿水ヲ注キ時々上下攪動シ大氣ニ觸ル、ノ面ヲ大ナラシメ二三年ヲ經過スレハ硝化作用ニ由リ硝石ヲ化生スルヲ以テ其土質ヲ取り水ニ溶解シ結晶シテ製ス

當今ハ智利硝石ヨリ加里硝石ヲ製造スルノ法盛大ナリ其法ハ智利硝石ニ鹽化加留謨ヲ加ヘ水ニ溶解シ其溶液ヲ煮沸ス然ルルハ該二物互ニ交換シテ硝酸加里ト食鹽トヲ生ズ此硝酸加里ハ温湯ニ溶解シ易ク食鹽ハ該物ヨリ溶解シ難キヲ以テ煮沸液中ヨリ結晶セシメテ除去シ母液中ニ殘留スル硝酸加里ヲ更ニ冷却結晶シテ製シ又

鹽化加留謨ニ代ユルニ炭酸加留謨ヲ用ユルノ法アレモ其理ニ至テハ同一ナリ市販ノ硝石中ニハ概テ多量ノ鹽化加留謨ヲ含有スルヲ以テ之ヲ精製スルニハ先ツ水ニ溶解シ濾過シ濾液ヲ蒸發シ冷却スルトキハ鹽化加留謨ハ結晶シ難キヲ以テ母液中ニ溶存シ硝石ハ結晶析出ス故ニ之ヲ取テ再三結晶シテ精製ス

〔性状〕 白色六角形稜柱狀ノ結晶體ヲナシ清涼ナル鹹味ヲ有シ比重ハ二、一ナリ水ニ溶解スレモ酒精ニハ溶解シ難ク之ヲ三百四十度ニ熱スレバ熔融シ紅熾熱ニ至ルトキハ酸素及ヒ亞硝酸加里ニ分解シ又炭火上ニ投スレバ爆鳴ヲ發シテ燃燒ス

硝石ハ冷水ヨリ温湯ニ溶解シ易キモノニシテ今水百分ニ對シ溶解スル硝石ノ%ヲ左ニ示サントス但シ溫度ハ華氏ニ據ル

三十二度ノ水	一三、三二%	六十四、四度ノ水	二九、〇〇%
百十三度ノ水	七四、六〇%	二百〇六、六度ノ水	二三六、〇〇%

日本藥局方曰 硝酸加留謨ハ無色透明ノ稜柱結晶或ハ白色乾燥結晶性ノ粉末ニシテ中性ノ反應ヲ徵シ氣中ニ於テ變化セズ四分ノ水及〇、四分ノ沸湯ニ溶解シ酒精ニハ殆ト溶解セズ

〔來歴〕 硝石ハ昔時ヨリ世ニ知ラレタル鹽類ニシテ洋書ニ據レハ七百年代「ゲーベル」氏ニ由リ詳明セララル

〔應用〕 硝石ハ火藥、煙火、硝酸、硫酸、玻璃等ノ製造ニ供シ其他染布、冶金、醃肉等ニ應用セララル、一工業藥ナリ

火藥 Gun-powder. 火藥ハ硝石、木炭及ヒ硫黃ノ混和物ヨリ組成セララル、可燃性合劑ニシテ此混和物ヲ密封器或ハ水中ニテ點火スレバ大ナル勢力ヲ發シ一時ニ多ノ量ノ瓦斯ヲ發生ス之ヲ利用シテ彈丸ヲ發射シ或ハ物體ヲ破壞スルニ用フ而シテ其火藥ノ配合量ハ各國稍々差異アルモノニシテ其二三ヲ示ストキハ左ノ如シ

火藥	硝石	硫黃	木炭	火藥	硝石	硫黃	木炭
日本	七五〇〇	二二〇〇	一三〇〇	英吉利	七五〇〇	一〇〇〇	一五〇〇

佛蘭西	七五〇〇	二二五〇	二二五〇	合衆國	七五〇〇	二二五〇	二二五〇
魯西亞	七三六六	二二六三	二二五九	北耳西亞	七五〇〇	二二五〇	二二五〇
澳大利亞	七二〇〇	一六〇〇	一七〇〇	西班牙	七六四七	二二七五	一〇七八
瑞典	七六〇〇	九〇〇	一五〇〇	支那	七五〇〇	九九〇	一四四〇

赤磷通 Amorphous phosphorus. [化學記號] P.

〔異名〕 無形磷名譯

〔製法〕 黃磷ヲ炭酸瓦斯中ニ於テ二百五十度乃至二百六十度ニ熱シテ製ス

黃磷ヲ赤磷ニ變成スルノ通法ハ陶製或ハ玻璃製ノ罐内ニ黃磷ヲ入レ管ヲ具備スル蓋ヲ以テ堅ク密封シ管ノ末端ハ別ニ水或ハ水銀ヲ充テタル器中ニ沈メ大氣トノ流通ヲ謝斷シ其罐全體ヲ砂鍋ニ沈メ漸々熱シ罐内ノ空氣逃出スルニ至レバ管ニ設置スル活栓ヲ閉チ二日間ハ低溫ニ於テ熱シ尙ホ十日間ハ二百四十度内外ノ溫ヲ以テ

熱スルトキハ黄燐ハ遂ニ赤燐ニ變ス依テ之ヲ罐中ヨリ出シテ硫化炭素中ニ溶解ス然ルトキハ未製ノ黄燐ハ此中ニ溶解シ赤燐ハ溶解セスシテ沈降スルガ故ニ之ヲ取テ水洗ス

〔性状〕 赤褐色不透明無臭ノ固體ニシテ二一ノ比重ヲ有シ水、亞爾個保兒、依的兒、硫化炭素等ニ溶解セズ且ツ大氣中ニ在テ變化セザルノミナラズ二百度ニ熱スルモ引火セズ二百六十度ニ至テ發火ス又之ニ重格羅酸謨加里ヲ加ヘ研磨スルモ爆發セズ鹽酸加里、過酸化滿俺、鉛丹ト共ニ研磨スレバ爆發ス

〔來歴〕 赤燐ハ今ヲ去ルコト殆ト四十六年前澳太利維也納府ノ博士シロツテル氏ノ創製スル處ナリ

〔應用〕 赤燐ハ黄燐ノ如ク大氣中ニ在テ直ニ燃燒スルコトナク且ツ無害ナルヲ以テ黄燐ヨリ需用ノ廣キ藥品ナリ殊ニ安全摺附木、爆發藥ヲ製造シ其他沃度化燐等ヲ製スルニ用キラル

安全摺附木 *Safety-matches*. 黄燐ヨリ製造スル摺附木ハ發火シ易ク危險ニシテ且ツ有害ナルヲ以テ當今ハ專ラ安全摺附木ヲ使用ス其配合量ノ一ヲ示ストキハ左ノ如シ

- 摺附木ノ棒ニ塗着スル藥品
- 鹽酸加里……………三十二分 重格羅謨酸加里……………十二分
- 鉛丹……………三十二分 硫化安質母尼……………二十四分
- 摺附木ノ箱面ニ塗布スル藥品
- 赤燐……………一分 玻璃末……………三分

石鹼 通名 Soap.

石鹼トハ脂肪酸ト酸化金屬トノ化合物ノ總稱ナレモ一般ニ石鹼ト稱シ工業上ニ使用スル處ノモノハ脂肪酸曹達(硬石鹼)及ヒ脂肪酸加里(軟石鹼)ヲ指示ス

〔異名〕 灰鹼、錫布、沙盆

〔製法〕

脂肪油即チ阿列布油、榛子油、胡桃油、亞麻仁油、大麻油、罌粟油、罌粟油、栗油、豚脂、羊脂、牛脂ノ如キ脂肪酸、油酸等ノ虞里斯林依的兒ニ苛性亞爾加里ヲ加ヘ熱シ充分ニ鹼化シタル後チ之ニ食鹽水ヲ加ヘ石鹼ヲ不溶解物トナシ之ヲ取テ少量ノ温水ニ溶解シ凝固シテ製ス

石鹼製造ニ供スル油料ハ數多アレモ内國ニテハ蓖麻子油、桐油、椴油、牛馬豚脂等ヲ用キ外國ニテハ椰子油、阿列布油、桐油等ヲ用フ而シテ歐米各國ニ在テハ其製造モ宏大ナル装置ニ由レモ本邦ニテハ未タ完全ナル装置ヲ用キズ各自其製造法ニモ差異アリ今我國ニ於ケル石鹼製造ノ大略ヲ示スキハ左ノ如シ

油料ヲ釜ニ入レ熱ヲ加ヘ亞爾加里液ノ「ボーマー」氏比重計八度ノ溶液ヲ漸次ニ加ヘ熱シ二時間毎ニ二十二度、十六度、二十度、二十五度、二十八度ノ強液ヲ入レ充分脂肪ト親和セシメ後チ之ニ二度ノ食鹽水ヲ加ヘ冷却スルトキハ四五時間ニシテ石鹼ト水分ト分離スルヲ以テ其水分ヲ去リ漸次水ヲ加ヘ一日間熱シ全ク液ノ透明トナルヲ度トシ鑄框ニ移シ靜ニ放置スルキハ數日ニシテ全ク凝固ス由テ鑄框ヲ取

去リ銅線ヲ以テ適當ノ大サニ截切シ氣中ニ乾燥シテ適度ノ硬度トナス

〔性状〕

石鹼ハ製造原料ニ由リ其性状ヲ異スモ概シ白色或ハ灰白色大理石様ノ固塊(加里石鹼ハ軟泥ナリ)ニシテ鹹味ヲ有シ氣中ニ在テ變化セズ爪ニテ搔取シ得ベク水、亞爾個保兒ニ溶解シ其際泡沫ヲ生ズ尙ホ過量ノ水ニ逢フトキハ不溶解性ノ酸性鹽類ト游離ノ亞爾加里ヲ生シ石灰苦土鹽類ニ逢フトキハ不溶解性ノ石鹼ヲ生シ又酸類ニ逢フトキハ脂肪酸ヲ游離ス

〔成分〕

工業上ニ賞用スル馬耳塞石鹼ヲ組成スル正規ハ其百分中水分三〇、〇脂肪酸六四、〇那篤倫六、〇ナレモ油料タル脂肪中ニハ脂肪酸油酸ノ量ニ大差アルヲ以テ製造シタル石鹼モ一定ノ組成量ヲ保ツト能ハズ從テ硬軟其他ノ性質ヲ異ニス然レモ本邦ニテモ稍々製造業進歩シタルガ爲メ當今ニテハ馬耳塞石鹼ニ彷彿タル組成量ノ石鹼ヲ製造スルニ至レリ曾テ東京府工藝共進會ニ出品シタル十一種ノ石鹼ヲ

審査官工學博士高松豊吉先生ノ分析シタル結果ヲ示セバ

製造人	水分	脂肪酸 爾加里	游離脂肪	游離亞 爾加里	灰分
西條	二〇,四〇〇	七,二六八	二,四二〇	四,七一一	一,二五〇
相馬	二四,三六五	六,二七一	一,七六〇	五,七〇四	一,九〇〇
町田	一六,七〇五	七,二五八	一,三三二	三,一〇〇	三,二四六
武田	一九,〇三五	七,九一一	一,七六〇	二,六〇四	二,七〇〇
堀江	一八,四二五	七,〇二五	二,五二〇	二,九六〇	三,〇五〇
村瀬	一五,六六五	七,五二九	一,五四〇	二,三三六	五,三〇〇
加藤	一九,六六〇	七,〇三〇	二,七六〇	四,四三〇	二,四二〇
稻垣	二〇,四〇〇	六,〇三〇	二,八六〇	二,〇四〇	六,六六〇
天野	二四,六〇〇	六,〇五二	二,四二〇	六,三二〇	六,〇六八
山田	一七,七六一	七,七五五	二,三二〇	三,五三四	四,六〇〇

吉澤(洗濯)

三六,四一〇

四六,七七一

六,七四〇

四八,一七

五三,五三

貯法

密閉器中ニ収メ貯フルヲ良シトス

來歴

石鹼ハ古昔「ゴール」人ノ發明スル處ニシテ當時ハ獸脂ト灰トヲ混和シテ製造シタリ而シテ「ゴール」人之ヲ羅馬人ニ傳ヘテヨリ歐洲全土ニ傳搬シタルモノナリ

應用

工業用石鹼ハ毛絨、洋紙等ノ光澤ヲ現出スルニ用ヒ其他絹練用、染工用、洗濯用等ニ供セラル

石油偏陣名通

Cersolene.

石油ヲ蒸餾シ五十乃至百五十度ニ於テ餾出スルモノヲ揮發油(俗ニ「はつと云フ」)ト稱シ其温度ノ中間ニ在テ餾出シ來ルモノヲ石油偏陣ト稱ス又二百度乃至三百度ニテ餾出スルモノヲ石炭油ト通稱シ燈火用ニ供セラル

產地

石油偏陣ヲ含有セル石油ハ主ニ亞米利加諸州、魯西亞、比耳西

亞細旬地方ヨリ産出シ我國ニテハ北越地方ヨリ多量ニ産出ス
〔製法〕 石油偏陣ハ概テ米國産石油ヲ六十乃至八十度間ノ温度ニ於テ蒸餾シテ製ス

〔性状〕 無色透明流動シ易キ液體ニシテ一種特異ノ臭氣ヲ有シ點火シ易ク水ニ溶解セサレモ亞爾個保兒依的兒囉仿謨等ニハ能ク溶解ス

日本藥局方ニ曰 石油偏陣ハ石油中五十度乃至六十五度ニ於テ餾出スル澄明無色點火シ易キ揮發性ノ液ニシテ螢石彩ヲ現ハサズ不快ナル特異ノ臭氣ヲ有シ反應ハ中性ナリ水ニ溶解セズ大約五分ノ酒精ニ溶解ス比重大約〇、六七ナリ

〔成分〕 石油偏陣ハ炭水素化合物ノ集成物ニシテ其比率一定セザレモベンゼン C_6H_6 、ヘキサン C_6H_{14} ノ如キ脂肪體ヲ主ナル組成物ト爲ス
〔貯法〕 揮發性强ク且ツ點火シ易キヲ以テ密閉器中ニ納メ冷所ニ貯フベシ

〔應用〕 樹脂脂肪等ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ之ヲ假漆製造或ハ脂肪ノ汚點ヲ除去シ其他依的兒ノ如ク溶解藥トシテ用キラル

赤色酸化銅 化學名 Red oxide of copper.

〔化學記號〕 Cu_2O

〔異名〕 第一酸化銅、亞酸化銅

〔所在〕 天然ニ赤色八面形ノ赤銅礦 Cuprite トナリテ産出ス

〔製法〕 水酸化銅三十分苛性加里九分ヲ水ニ溶和シ砂糖十五分ヲ加ヘ能ク攪拌シ濾過シテ得タル濃青色ノ溶液ヲ漸次熱スルトキハ赤色酸化銅ヲ沈降シ液ノ褪色スルニ至テ火ヲ撒シ沈澱物ヲ水洗乾燥シテ製ス

〔性状〕 赤色無形ノ粉末ニシテ氣中ニ在テ變スルコトナク水ニ溶解セサレモ安母尼亞水、酸類ニハ溶解シ玻璃質ト熔合スレバ之ヲ紅色ニ

染ム

〔應用〕 顔料トナシ陶磁器及ヒ玻璃質ノ紅色彩色料ニ供ス

赤色血滴鹽 通名 Red prussiate of potash.

〔化學記號〕 $K_4Fe_2(CN)_{12}$

〔異名〕 赤血鹽略

〔製法〕 黃色血滴鹽溶液ニ格魯兒瓦斯ヲ通シテ其液ノ一部分ヲ取り

一半鹽化鐵液ヲ加ヘ藍色ヲ呈セザルニ至レバ之ヲ蒸發結晶シテ製ス

〔性状〕 暗紅色稜柱狀ノ結晶體ヲナシ水ニハ溶解スレモ亞爾個保兒

ニハ僅微ナリ此溶液ニ第一鐵鹽類ヲ加フルトキハ深藍色ノ沈澱ヲ生ズ

〔應用〕 黃色血滴鹽ノ如ク染工用ニ供シ其他顔料製造ニ用フ

赤色血滴鹽ハ青色寫眞法トシテ紙片ヲ日光ノ媒介ニ由テ青色ニ寫映スルニ用フ即

チ其藥液ヲ暗所ニ於テ紙片ニ塗布シ採映紙ヲ之ニ載セ感光セシメテ寫映シ水洗シテ乾燥スルナリ今其藥液配合量ノ一ヲ示ストキハ左ノ如シ

赤色血滴鹽……………十分 杓櫛酸鐵安母紐謨……………十五分

水……………六十分

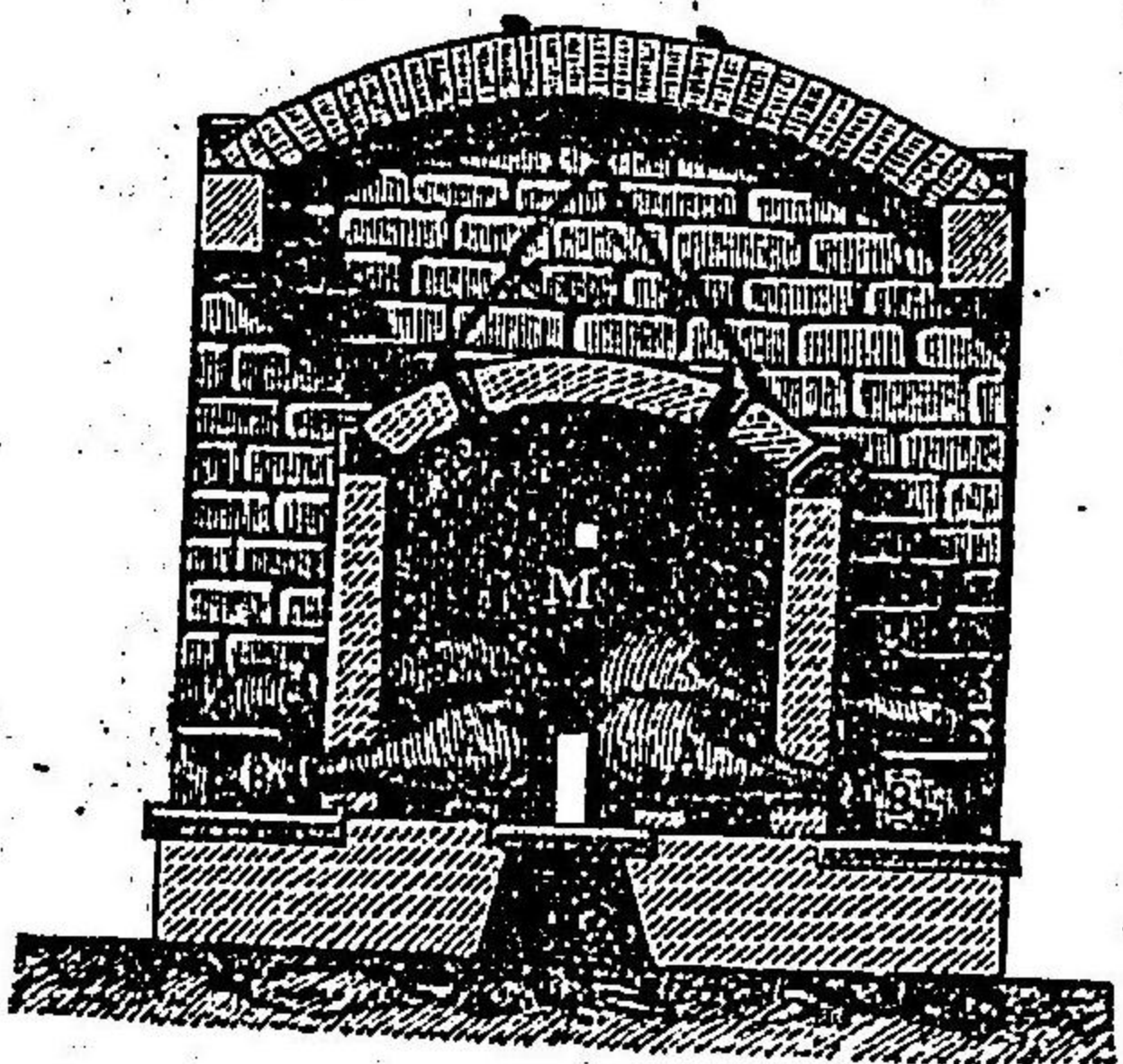
水銀名 Mercury. 〔化學記號〕 Hg.

〔異名〕 汞別名 鉛精 美都加禰

〔產地〕 支那、日本、印度、埃地利、西班牙、亞米利加諸州ヨリ產出シ我國ニテハ奈良及ヒ佐賀ノ諸縣ヨリ產出ス

〔所在〕 水銀ハ天然ニ金屬狀ヲナシ其少量ヲ發見セラルレモ其主ナルモノハ辰砂 Cinnabar ト稱スル硫化水銀ノ礦石トス

〔製法〕 辰砂ヲ熱シ亞硫酸瓦斯及ヒ水銀蒸氣トナシ之ヲ濃縮シ或ハ辰砂ニ石灰ヲ加ヘ煖灼シ發出スル水銀蒸氣ヲ冷室ニ導キ濃縮シテ製



造スルモノトス

佛國ニ於テ水銀ヲ製スルニハ圖ノ如キ陶製「レトルト」(A)ニ辰砂及ヒ石灰ノ混和物ヲ入レ其口ニハ陶製受器(B)ヲ設ケ之ニ多量ノ水ヲ注キ冷却ス而シテ「レトルト」ヲ窯爐内ニ於テ熾熱スレバ水銀蒸氣ハ受器ニ來リ凝縮スルヲ以テ之ヲ採集ス

通常水銀中ニハ安質母尼、鉛、銀等ヲ雜有スルヲ以テ再度蒸餾シテ精製シ或ハ硝酸硫酸若クハ鹽化鐵液ヲ以テ充分洗滌シテ精製スルモノトス

〔性状〕 光輝アル銀白色ノ液體ニシテ三百六十度ニテ沸騰シ零下四十度ニ凝結ス比重ハ一三、五九ニシテ水、亞爾個保兒等ニハ溶解セズ鹽酸ニハ侵カサル、コトナケレモ温硫酸及ヒ硝酸ニハ溶解ス

日本藥局方ニ曰 水銀ハ銀様ノ光澤ヲ有スル液狀ノ金屬ニシテ比重ハ十三、五七ナリ

〔貯法〕 堅牢ナル玻璃櫃中ニ密閉シ貯フベシ

〔應用〕 諸金屬ヲ溶解スルノ性アルヲ以テ多量ニ冶金術ニ使用シ或ハ鍍金術、玻璃鏡製造、齒科用銀膏、水銀鹽類ノ製造ニ用キラレ其純品ハ驗温器、驗濕器等ヲ製作スルニ用キラル

改正 增補 工業藥全書 畢

附錄

工業藥品配伍禁忌一覽表

工藝技術ニ使用スル藥品即チ工業藥ヲ配劑シテ萬種ノ物品ヲ製造スル際該藥ノ性質ヲ知ラズ妄リニ之ヲ配伍スルトキハ化學變化ヲ起シ藥品ノ本性ヲ失ヒ全ク異質ノ物品ヲ化生シ或ハ俄然爆發シテ不虞ノ危害ヲ被ルコト少シトセズ故ニ術者ハ宜シク藥品ノ性質ヲ了知スベキハ勿論化學一般ノ理論ヲ會得セスシテ之ヲ配伍スベカラズ依テ本書ニ掲クル工業藥ニ對スル配伍禁忌ノ一斑ヲ左ニ示サントス

工業藥	配伍藥	化學變化ノ一斑
伊保多蠟	亞爾加里	互ニ溶合スルトキハ鹼化ス
硫黃	鹽酸加里	研和スルトキハ直チニ爆發ス
石灰酸類		混和スルトキハ石灰ノ鹽類ヲ生シ又鹽類ニ由リ此作用ヲ起ス

石粉	亞爾加里	互ニ融合スルトキハ水ニ溶解スル物質ニ變ス
印度護謨	揮發性溶解藥	揮發性溶解藥ニハ其中ニ溶解スルノ性アリ
綠礬	亞爾加里	各溶液ヲ合スルトキハ不溶解物ヲ生シ又單質ニハ黑變ス
ロード油	酸類	油中ノ亞爾加里ト抱合スルガ故ニ油分ヲ游離ス
發煙硫酸	亞爾加里	互ニ觸接スルトキハ化合物シテ硫酸鹽類ヲ化生ス
馬鈴薯澱粉	沃度	互ニ觸接スルトキハ藍色ヲ呈ス
巴拉賓	亞爾加里	互ニ融合スルトキハ化合物ス
礪酸	亞爾加里	互ニ化合物シテ可溶性ノ鹽類ヲ生ズ
礪砂	酸類	觸接スルトキハ礪酸ヲ析出ス
煮皮	酸類	不可溶性ノ物質ヲ生シ又酒精ニモ同一ノ作用ヲ呈ス
漂白粉	酸類	分解シテ鹽素瓦斯ヲ揚發ス
偏陣酸	酸類	互ニ化合物シテ偏陣化合物ヲ生シ時トシテ爆發スルコトアリ

銅箔	酸類	酸類ニハ容易ニ溶解シ硫化水素ニハ黑變ス
動物炭瓦	斯	瓦斯、色素ヲ觸接スルトキハ之ヲ吸收ス
礪砂	強亞爾加里	互ニ化合物シテ安母尼亞瓦斯ヲ揚發ス
吐酒石	酸類	酸類ニハ酒石酸ヲ分離シ、石鹼、亞爾比亞護謨ニハ化合物ス
智利硝石	酸類、硫黃	硫酸ニハ硝酸ヲ發生シ硫黃ト混和シ熱スレバ焚燒ス
チヤン	揮發油、酒精	揮發油、酒精ニ觸接スルトキハ溶解ス
重碳酸曹達	鹽類、酸類	可溶性鹽類ニハ碳酸鹽ヲ沈降シ酸類ニハ碳酸瓦斯ヲ發ス
重格魯母酸加里	鹽類、酸類	鹽類ニハ格魯母酸鹽ヲ生シ酸類ニハ酸素瓦斯ヲ發生ス
硫肝	重金屬鹽類	觸接スレバ硫化物ニ變生スルノ性アリ
硫化炭素	脂肪油	互ニ溶解スルノ性ヲ有シ又不可溶解物ヲ接スルモ之ヲ溶解ス
硫化安質母尼	鹽酸加里	混和シ研磨スルトキハ直チニ爆發ス
硫	鹽類、有機物	鹽類ハ分解セラレ、有機物ハ炭化セラル

葛粉	海蘿	黃色血滴液	黃蠟	蕨粉	ワニス	阿利機油	磷酸曹達	磷	硫酸亞爾密紐謨	硫酸曹達	硫酸暹結爾
沃度	酸類	鐵鹽類、銅鹽類	亞爾加里	沃度	水	亞爾加里	炭酸鹽類	酸化藥	亞爾加里鹽	可溶性石灰鹽	炭酸鹽亞爾加里
沃度液ニ藍色ヲ呈ス	酸類ニハ不溶解物ヲ生ズ	鉄鹽類ニハ藍色銅鹽類ノ溶液ニハ褐色ノ沈澱ヲ生ズ	混和スルルハ鹼化ス	沃度液ニハ藍色ヲ呈ス	水ヲ加フルトキハ樹脂質ハ沈降ス	混和スルトキハ鹼化ス	互ニ其水溶液ヲ和スルルハ白澱ヲ沈降ス	互ニ混和スルルハ直チニ發火ス	炭酸鹽類及ヒ亞爾加里溶液ニハ白澱ヲ生ズ	互ニ其水溶液ヲ和スルルハ白澱ヲ沈降ス	炭酸鹽類及ヒ亞爾加里液ニハ綠澱ヲ生ズ

苛性加里	苛性曹達	煖性義布斯	沃度	沃度加里	達刺侃篤護謨	蛋白	膽礬	單寧酸	炭酸銅	炭酸加里	炭酸曹達
酸類	酸類	水	磷、澱粉	酸類、昇汞	酒一半鹽化鐵類	酒精、酸類、昇汞	亞爾加里	金屬鹽類	酸類	酸類	酸類
互ニ化合物シテ鹽類ヲ生ズ	互ニ化合物シテ鹽類ヲ生ズ	水ト抱合シテ堅固ノ塊ヲ化生ス	磷ニ觸ルレバ發火シ澱粉液ニハ藍色ヲ呈ス	酸類ニハ分解シ昇汞液ニハ赤色ノ沈澱ヲ生ズ	互ニ其液ヲ加フルルハ不溶解物ヲ化生ス	互ニ其液ヲ和スルトキハ不溶解物ヲ化生ス	互ニ其水溶液ヲ和スルルハ綠青色ノ沈澱ヲ生ズ	互ニ其水溶液ヲ和スルルハ沈澱ヲ生ズ	鹽類ニ逢フルハ可溶性ノ鹽類ニ變ズ	酸類ニ逢フルハ可溶性ノ鹽類ニ變ズ	酸類ニ逢フルハ可溶性ノ鹽類ヲ生ズ

炭酸安母尼亞	酸類	酸類ニ達フキハ可溶性ノ鹽類ヲ生ズ
炭酸石灰	酸類	酸類ニハ可溶性或ハ不可溶性ノ鹽類ヲ生ズ
角 股 單 寧 酸	酸類	互ニ其水溶液ヲ和スルキハ不溶解物ヲ生ズ
烏 梅 亞 爾 加 里	酸類	烏梅中ノ酸類ハ化合シテ鹽類ヲ化生ス
偏 里 設 林 硝 酸	酸類	混和スルトキハ時ニヨリ爆發ス
過 酸 化 滿 俺 酸	酸類	酸類ニハ溶解シテ鹽類ヲ生シ殊ニ鹽酸ニハ鹽素ヲ發生ス
滑 石 酸	酸類	酸類ニハ溶解シテ珪酸ヲ分離ス
偏 答 百 兒 加 揮 發 性 溶 解 藥	酸類	揮發性溶解藥ニハ其中ニ溶解ス
洋 箱 酸	酸類	酸類ニハ容易ニ溶解ス
松 脂 揮 發 性 溶 解 藥	酸類	揮發性溶解藥ニハ其中ニ溶解ス
マ ス チ ャ ッ ク 揮 發 性 溶 解 藥	酸類	揮發性溶解藥ニハ其中ニ溶解ス
螢 石 硫 酸	酸類	分解シテ弗化水素酸ヲ發生ス

浮 石 酸 類	酸類	酸類ニハ溶解シテ珪酸ヲ分離ス
格 魯 胃 謨 水	酸類	水ヲ加フルキハ不溶解物ヲ沈降ス
格 魯 兒 化 黃 金 還 元 藥	酸類	還元藥ニ達フトキハ黃金ヲ沈降ス
格 魯 兒 滿 俺 亞 爾 加 里	酸類	互ニ其水溶液ヲ和スルトキハ褐色ノ沈澱ヲ生ズ
格 魯 兒 亞 鉛 酸 化 亞 鉛	酸類	混和スルキハ暫時ニシテ凝固スル塊ヲ生ズ
コ バ ル 揮 發 性 溶 解 藥	酸類	揮發性溶解藥ニハ容易ニ溶解ス
胡 麻 油 亞 爾 加 里	酸類	亞爾加里ヲ達フトキハ酸化ス
的 列 並 底 油 硫 黃 及 ヒ 酸 化 物	酸類	三物ヲ混和スルキハ時ニヨリ發火スルコトアリ
天 瓜 粉 沃 度	酸類	沃度液ニ達フトキハ藍色ヲ呈ス
亞 爾 密 那 酸 曹 達 酸 類	酸類	酸類ニ達フトキハ白澱ヲ生ズ
亞 拉 昆 亞 護 謨 一 半 鹽 化 鐵 鉛 糖	酸類	互ニ其液ヲ和スルキハ不溶解物ヲ沈降ス
亞 麻 仁 油 亞 爾 加 里	酸類	亞爾加里ニ達フトキハ酸化ス

諸謨尼亞水	酸	類	互ニ化合シテ可溶性ノ鹽類ヲ生ズ
菜子油	亞爾加里	類	亞爾加里ニ達フトキハ鹼化ス
撒里失爾酸	亞爾加里	類	互ニ化合シテ撒里失爾酸鹽類ヲ生ズ
醋酸	亞爾加里	類	互ニ化合シテ醋酸鹽類ヲ生ズ
醋酸鐵	亞爾加里	類	酸類ニ達フキハ分解シテ醋酸ヲ游離ス
醋酸格羅密烏謨	亞爾加里	類	互ニ其水溶液ヲ加フルキハ褐色ノ沈澱ヲ生ズ
醋酸亞爾密紐謨	亞爾加里	類	酸類ニハ醋酸ヲ分離シ亞爾加里ニハ綠澱ヲ生ズ
珊達刺屈	揮發性溶解藥	類	互ニ其水溶液ヲ加フルキハ白色ノ沈澱ヲ生ズ
酸化鉛	酸	類	揮發性溶解藥ニ溶解ス
酸化格羅密烏謨	酸	類	酸類ニハ溶解シテ鹽類ヲ化生ス
酸化箇拔兒篤	酸	類	酸類ニハ溶解シテ桃色ノ鹽類ヲ生ズ

酸化安質母尼	酸	類	酸類ニハ溶解シテ鹽類ヲ化生ス
魚膠	酸	類	酸類ニハ水ニ不溶解物ヲ化生ス
金箔	王水	類	王水ニハ容易ニ溶解シ水銀ニモ銻合ス
銀箔	硝酸、硫酸	類	此二酸ニハ容易ニ溶解シ水銀ニモ銻合ス
湯花	鹽酸加里	類	互ニ混和シ研磨スルトキハ爆發ス
明礬	亞爾加里	類	亞爾加里ニハ初メ中和シ後チ白澱ヲ生ズ
水戶箔	酸	類	酸類ニハ溶解シ水銀ニモ銻合ス
磨砂	酸	類	酸類ニハ溶解ス
水硝子	酸	類	酸類ニハ分解セラレテ膠狀ヲ呈ス
漿沃	沃度	類	沃度液ニ達フテ藍色ヲ呈ス
錫箔	酸	類	酸類ニハ溶解シ水銀ニモ銻合ス
錫酸曹達	酸	類	分解セラレテ白澱ヲ生ズ

車前葉山慈姑粉	沃	度	沃度液ニ達フテ藍色ヲ呈ス	
次亞硫酸曹達	酸	化	藥	酸化シテ亞硫酸曹達ニ變ス
臭素加里	酸	類	礦酸類ニ達フトキハ分解セラル	
樟酸	硫	酸	分解セラレテ炭酸瓦斯及ヒ一酸化炭素ニ變ス	
酒石精	酸	類	硫酸、硝酸等ニ達フキハ異質ノ物體ニ變化ス	
酒石酸	亞炭	酸	炭酸鹽ハ炭酸瓦斯ヲ發生シ亞爾加里トハ化合シテ鹽類ヲ生ズ	
酒石英	酸	類	分解セラレテ酒石酸ヲ游離ス	
荏油	亞爾	加里	互ニ融合スルトキハ鹼化ス	
鹽化錫	昇	汞	其水液ヲ合スルトキハ白色ノ沈澱ヲ生ス	
鹽酸	亞爾	加里	互ニ化合シテ鹽類ヲ化生ス	
鹽酸加里	硫黃、硫	化合物	混和シテ研磨スルトキハ爆發ス	
蓖麻子油	亞爾	加里	互ニ融合スルトキハ鹼化ス	

砒石	炭酸亞爾	加里	水溶液ヲ加ヘ熱スルキハ砒石ハ溶解ス	
青酸加里	可溶性	鹽類	互ニ其水溶液ヲ和スルキハ沈澱ヲ生ス	
セルラック	揮發性	溶解藥	揮發性溶解藥ニ溶解ス	
攝涅瓦爾護謨	鉛	糖	鉛糖水溶液ニハ不溶解物ヲ生ズ	
昇汞	沃度	加里	互ニ其水溶液ヲ和スルキハ赤色ノ沈澱ヲ生ズ	
硝酸	有	機	物	有機物ヲシテ酸化セシム
硝酸拔留謨	炭酸	鹽類	互ニ其水溶液ヲ和スルキハ白色ノ沈澱ヲ生ズ	
硝酸鐵	亞爾	加里	亞爾加里ニ達フキハ赤褐色ノ沈澱ヲ生ズ	
硝酸銀	鹽	化	物	互ニ其水溶液ヲ和スルトキハ白色ノ沈澱ヲ生ズ
硝酸斯篤倫胃謨	炭酸	鹽類	互ニ其水溶液ヲ和スルキハ白色ノ沈澱ヲ生ズ	
硝石	硫	酸	硫酸ニハ硝酸ヲ發生ス	
赤磷	鉛	丹	混和シテ研磨スルキハ爆發ス	

石	鹼酸類	酸類ニ違フキハ脂肪酸ヲ分離ス
石油偏陣	硝酸	酸化セラレ時ニヨリ發火スルコトアリ
赤色酸化銅	酸類	酸類ニハ溶解シテ鹽類ヲ化生ス
赤色血鹵鹽	鐵鹽類	鐵鹽類ニ逢フキハ青色ノ沈澱ヲ生ズ
水	銀硫黃	二物ヲ研磨スルキハ黑變ス

本表ニ掲載セルガ如ク配伍藥ニ由リ種々ノ化學的變化ヲ生スルヲ以テ又此作用ヲ利シ物品ヲ製造スルコトアリ故ニ術者ハ宜シク此配伍禁忌ニハ注意スベシ

工業藥品劇毒藥一覽表

工業藥品中之ヲ誤テ服用シ死ニ陥ルモノト特ニ之ガ性質ヲ了知シ内服シテ自殺ヲ遂ケント欲スルモノトアリ故ニ維新以來政府ハ劇毒藥ノ法令ヲ布キ之ガ取締ヲ設ケタルコト數回ニ及ベリ而シテ現時施行セラル、モノハ明治二十年內務省令第二號ニシテ此法令ハ日本藥局

方所載ノ藥品ノミナレモ工業上ニハ局方外ノ藥品ヲ用フルモノ多ク從テ同法令ニ掲ケサル藥品ニシテ劇毒藥ノモノ少ナカラズ是等ハ同令ヲ遵奉シ取扱ハザルベカラズ依テ左ニ本書ニ例載シタル工業藥品中ノ劇毒藥ヲ記シ術者ノ參考ニ供ス

毒藥	發烟硫酸	苛性曹達	安母尼亞水
磷	吐酒石	沃度	醋酸鉛
亞砒酸	重格魯謨酸加里	沃度加里	核酸
亞砒酸銅	硫化安質母尼	炭酸銅	鹽化拔留謨
青酸加里	硫酸	結晶硝酸銀	鹽酸
昇汞	硫酸銅	格魯兒亞鉛	鹽酸加里
劇藥	苛性加里	格魯謨酸鉛	硝酸

工業藥品解毒劑一覽表

既ニ工業藥品劇毒藥一覽表ニ示シタルガ如ク毒藥ト劇藥ニ論ナク之ヲ内服シテ死ニ陥ルモノアリ故ニ術者ハ豫メ之ニ備フル解毒藥ヲ知ルコト肝要ナリトス依テ本書ニハ劇毒藥ニ對スル一般ノ解毒劑ヲ左ニ掲クベシ

工業藥	解毒藥	工業藥	解毒藥
漂白粉	卵白、麻偏温矢亞	硫酸鐵	麻偏温矢亞、卵白、炭酸曹達
吐酒石	單寧酸、單寧質煎汁	磷	的列地底油、次亞鹽酸麻偏温矢亞
銅鹽類	麻偏温矢亞、卵白、	苛性加里亞	醋、枸橛汁、稀硫酸
重格羅謨	麻偏温矢亞、炭酸加里、水酸化鐵	沃度	澱粉、卵白、麥粉
酸加里		格魯兒	安母尼亞、硫化水素
硫肝	硫酸亞鉛(傍ラ鹽素水ヲ用フ)	格魯兒黃金	硫酸鐵、卵白(苦土ナ和ス)
硫化水素	格魯兒瓦斯(注意シテ吸入セシム)	亞鉛鹽類	炭酸亞爾加里、單寧酸
硫酸	慢性麻偏温矢亞、卵白、乳汁、石鹼水		

亞砒酸	砒石解毒劑	鹽化拔留謨	芒硝、磷酸曹達、舍利鹽
安母尼亞水	苛性亞爾加里ニ全シ	鹽酸	硫酸ニ全シ
安質母尼鹽	銅鹽類ニ全シ	青酸加里	酸硫化鐵加曹達
醋酸鉛	稀硫酸、卵白、芒硝	昇汞	卵白、乳汁、植物膠質
明礬	炭酸安母尼亞	硝酸	硫酸ニ全シ
樟酸	炭酸石灰	硝酸銀	食鹽、乳汁、卵白
酒石酸	硫酸ニ全シ		

工業藥品位一覽表

工業藥品中我國ニ產出スルモノ少ナカラズ是等ハ其產地ニ由テ品質ニ差等アリ故ニ藥品取扱者ハ特ニ之ガ品位ヲ稱呼ス由テ左ニ之ヲ例載シ術者ノ參考ニ供ス

硫黃 磨の目、烏の目、火口、通用、

綠礬 備中、阪、

煮皮 廣透、四千本、三千本、一千本、相上透
 銅粉類 天、上々、
 チヤン 上、中、
 海蘿 久平、柳、極天、上付、上付、封付、青白
 手、大判、赤三井藥、薩摩、伊勢、田舎手、しら
 葛粉 源三、本久助、富八、傳右衛門、小八、
 南加右衛門、元助、廣久助、善兵衛、
 片栗 南部
 蕨粉 吉野、櫻、籠入、水月、
 黃蠟 土州、筑前、熊野、
 角股 辛晒、海州、
 烏梅 種々、
 松脂 もち手、押込、

浮石 薩州、大選、中、
 金粉類 飛切、極天、天一、青一、青二、青三、
 中三、中二、中一、
 銀粉類 無類、天三、
 湯花 本草津
 明礬 豐後、薩摩、燒、那須、足尾、
 磨砂 本水飛、青判、上井、梅、
 樟腦 薩州、日州、
 漿麩 本名古屋、吟子切
 錫粉 天三、無類
 木賊 大長、長、百連もの、
 硝石 桿手、郡内、白川、

附錄 畢

改訂工業藥全書索引

色假漆	八七	鹿角菜	一八八	房州砂	二二三
伊保多蠟	一	鹿角精鹽	一九五	芒硝(硫磺)	七三
一酸化鉛	一九五	爐底	二二	抱水加里	九八
硫黃	三		一三四	抱水曹達	一〇〇
硫黃乳	七		一三〇	白礬	二〇九
硫黃華	六		一九五	白礬石	二〇七
硫黃肝	六二		八五	白堊	九〇
硫黃鹽	二〇		一五	白堊消	一三二
硫黃酸	六六	馬鈴薯澱粉	二八	白砒石	二六九
石灰(以之波比)	八	發煙硫酸	二七	吧嗎油	一六三
石糊	一四一	發煙硝酸	二五九	番瀝膏	五六
石粉	一五	巴刺賓	三〇	礬石	二〇七
印度護膜	一六	方形硝石	三三		
陰光漆	一九六	方形硝石	五五		
		硼酸(蓬酸)	三三		
		硼酸曹達	三五		
		硼酸那篤留膜	三五		
		硼砂(蓬砂)	三五		
			二六		
			二六		
			六三		
			三九		
			三九		
			八五		

索引

〔末〕

〔計〕

〔不〕

燒明礬	二〇九	靛羅酸加假膜	二二五	格魯兒滿俺	一五七
松脂	一四五	フルニス	八五	格魯兒亞鉛	一五八
マテカラ	六五	プルシアン青	九四	格魯兒安母紐膜	五〇
抹紙膠	一六	布海苔	一〇二	格魯兒酸加假膜	二四四
マスタック	一四七	弗灰石	九四	格魯兒石灰	四三
		弗化加爾夏膜	一四八	格魯兒水素酸	二四〇
		弗化石	一四八	格魯兒水銀	二五〇
		復鐵酸加假膜	一四九	コロゲチン	二五六
硅砂粉	一五	腐蝕剝爲亞斯	二八二	格魯兒膜(哥羅胃膜)	一五二
螢石	一四八	腐蝕曹達	九八	コバル	一六一
珪石末	一五	フエロロ藏化加里	一〇〇	コバル假漆	一六二
血漿蛋白	一一一	フェルリ藏化加里	九三	琥珀	一五九
結晶炭酸曹達	一二五	浮石	二八二	琥珀假漆	一六一
膠	三九		一四九	桔礬	二〇九
ケレモン	三三四			コーチツク	一六
消金	二〇四			コールドター	一六二
				骨炭	四九
				こつのもた	一三五
				汞	二八三
フロベニール、アルコール	一三六			江珠	一六〇

護膜假漆

ゴムトラゴン

黒灰

黒色假漆

黒色酸化錳

黒色酸化箇拔爾篇

黒脂石

黒液

黒鉛

糊精

護膜假漆	二〇	澱粉	一六九	亞的兒(過的兒)	二三七
ゴムトラゴン	一〇九	天瓜粉	一七〇	亞酸化銅	二八一
黒灰	一二五	天産無水石膏	一〇五	亞砒酸	二四九
黒色假漆	八六			亞砒酸銅	一一五
黒色酸化錳	一三九			諸謨尼亞明礬	二〇七
黒色酸化箇拔爾篇	一九八			諸謨尼亞水	一七五
黒脂石	一六四	聖土	二五		
黒液	一九〇	アリザリン油	一七一		
黒鉛	一六四	亞爾密那酸曹達	一七〇	柴布	九五
糊精	一六五	亞爾密那酸曹達	一一一	菜子油	一七七
	一六九	青箔	四八	撒里矢爾酸	一七九
		アガメツパン	二二	薩摩布苔	九五
		赤箔	四八	晒蠟	九一
		アラビヤ	一七二	晒粉	四三
		亞拉昆亞護膜	一七二	藏化加假膜	二五二
		亞拉比亞樹膠	一七二	象牙墨	四九
		亞麻仁油	一七三	醋	一八二
		阿膠	四一	醋酸	一八一
		亞格魯兒化滿俺	一五七	醋酸鈉	一九一
		亞格魯兒化錫	二三九	醋酸礬土	一九二

〔阿〕

〔左〕

醋酸鉛	一〇七	酸性格羅酸加爾謨	六〇	油製假漆	八六
醋酸格魯母	一九一	酸性酒石酸加爾謨	三三四		
醋酸格羅密爾謨	一九一	三千木	四一		
醋酸亞爾密紐謨	一九二				
三硫化安質母尼	六五				
酸化鋁	一九七	魚膠	二〇〇	水戶箔	二二一
酸化加爾更謨	八	京ニベ	二〇一	磨砂	二〇七
酸化鉛	一九五	輝安質母尼	六五	美都加福	二八三
酸化銻	一九八	キエツタヘルカ	一四二	蜜蠟	九〇
酸化箇拔爾篤	一九八	銀箔	二〇二	美川乃安和	一四九
酸化格魯謨	一九七	銀牙石	一六四	水硝子	二二一
酸化格羅密爾謨	一九七	金密陀僧	一九六	密陀僧	一九五
酸化安質母尼	一九九	銀密陀僧	一九六	密陀油	一九六
酸化エチール	二二七			明礬	二〇七
山粉	八七				
三酸化格魯密爾謨	一九七				
三酸化安質母尼	一九八	湯花	二〇六	「シール」氏綠	一一六
三酸化砒素	二四九	山乃阿和	三	瀟	五六
酸性炭酸那篤爾謨	五八	由王(由和字)	三	鐘乳石	一三二
				松香	一四五
				松香油	一六七

松根油	一六七	車前葉山慈姑粉	二二二	酒石酸	二二二
植物蛋白	一一一	上澱	四一	酒石酸安質母尼加里	五〇
樟腦	二二六	シヤン加里	二五二	酒石英	二三四
漿狀	二二九	芝麻油	一六五		
生鉄	二二九	シケルラツク	二五四		
筆鉛	一六四	拾芥先生	一六〇		
臭剝	二二五	次亞硫酸曹達	二二四		
臭素加里	二二五	次亞鹽酸加爾更謨	四四		
臭化剝篤亞斯	二二五	瘦石灰	一二		
萘酸	二二六	獸炭	四九		
沙盆	二七五	鞣酸	一一六		
蒸餾水	二二四	尋常硫酸	六六		
錫箔	二二〇	純印度謨謨	一八		
錫曹	二二一	純炭酸曹達	二二六		
錫布	二七五	純鹽酸	二四二		
錫粉	二二一	純硝酸	二六〇		
錫酸曹達	二二一	酒酸	二二二		
錫酸那篤爾謨	二二一	酒精	二二八		
錫晶	二二九	酒精假漆	八六		
錫鹽	二二九	酒石	二三四		

INDEX.

A

Acetic acid. 181
Acetate of aluminium. . . 192
Acetate of chromium. . . 191
Acetate of iron. 189
Acetate of lead. 187
Acid sodium carbonate.
 (Bi-carbonate of soda.) 58
Albumen. 112
Alum. 207
Aluminate of soda. . . . 170
Aluminium of acetate.
 (Acetate of aluminium) 192
Aluminium sulphate. . . 65
Amber. 159
Amber-varnish. 161
Ammonia carbonate.
 (Carbonate of ammonia.) 129
Ammoniacal alum. . . . 207
Ammonium chloride.

 (Sal-ammoniac.) 50
Amorphous phosphorus. 273
Animal charcoal. 49
Antimonious oxide
 (Oxide antimony.) . . 199
Antimonious sulphide. . . 65
Antimonio-tartrate of
 potash. (Tartar emetic.) 53
Arsenious acid. (Arsenic.) 249
Auric chloride. 154

B

Bees wax. (Yellow wax.) 90
Benzene. 46
Bicarbonate of soda. . . 58
Bichloride of mercury. . 256
Bichromate of potassa. . 60
Bisulphide of carbon.
 (Carbon disulphide.) . 63
Black ash. 125
Black liquor.

(Pyrolignite of iron.)	190	Carbon disulphide.	63
Black manganese. (Per-oxide of manganese.)	139	Carbonate of ammonia.	129
Black varnish.	86	Carbonate of lime.	131
Bleaching powder.	43	Carbonate of potash.	121
Blue vitriol.	113	Carbonate of soda.	124
Boracic acid (Boric acid.)	33	Caoutchouc.	16
Borax.	35	Caoutchouc-varnish.	20
Borate of soda. (Borax.)	35	Castor-oil.	246
Boric acid.	33	Caustic-lime.	12
Bromide of potassium.	225	Caustic potash.	98
Burnt gypsum.	102	Caustic soda.	100
C		Cedar-resin.	146
Calcium carbonate. (Carbonate of lime.)	131	Cement.	14
Calcium fluoride. (Flour-spar.)	148	Cersolene.	279
Calcium hydroxide. (Slaked lime.)	12	Chalk.	132
Calcium monoxide. (Quick-lime.)	12	Characnitite.	113
Calesper.	132	Chili saltpetre.	55
Camphor.	216	Chlorate of potash.	244
		Chlorhydric acid. (Muriatic acid.)	240
		Chloride of gold. (Auric chloride.)	154
		Chloride of lime.	43
		Chloride of manganous.	

(Manganous chloride.)	157	Cupric carbonate.	119
Chloride of zinc. (Zinc chloride.)	158	Cyanide of potash.	252
Chloroform.	150	Cyanide of soda.	253
Chrome yellow.	61	D	
Chromic oxide. (Oxide of chromium.)	197	Dextrin.	169
Chromium acetate. (Acetate of chromium.)	191	Dioxide of manganese. (Peroxide of manganese.)	139
Coaltar.	162	Disodic orthophosphate. (Sodium phosphate.)	81
Cobalt.	198	Distillate water.	214
Coleseed-oil.	177	Dried and smoked plum.	135
Collodion.	152	Dutch-rush.	251
Collodium.	152	E	
Colour-varnish.	87	Ebonite.	20
Copal.	161	Egg albumen.	111
Copal-varnish.	162	Ether.	236
Copper-dust.	48	F	
Copper-leaf.	47	Ferrous sulphate. (Green-vitriol.)	21
Copper of arsenite.	115	Flowers of sulphur.	6
Cream of tartar.	234		
Crystal-varnish.	148		
Cubic nitrate. (Chili saltpetre.)	55		

Flint. (Powder of ston.) 15	Hydrochloric acid.
Flour of fern. 87	(Muriatic acid.) 240
Flour of pueraria. 96	Hydrodisodic phosphate
Flour-spar. 148	(Sodium phosphate.) 81
Funing muriatic acid. 242	Hydrogen chloride.
Funing nitric acid. 260	(Muriatic acid.) 240
Funing sulphuric acid. 27	Hydrogen borate.
	(Boric acid.) 33
G	Hydroiodate of potash.
Glass. 152	(Iodide of potassium.) 108
Glacial acetic acid. 184	Hydrosodic carbonate.
Glauber salt.	(Bicarbonate of soda.) 58
(Sulphate of soda.) 73	
Glocopeltis intricata. 94	I
Glycerin. 136	India rubber. 16
Gold-dust. 204	Iodide of potassium. 108
Gold-leaf. 202	Iodine. 105
Graphite. 164	Iron acetate.
Green-vitriol. 21	(Acetate of iron) 189
Gun-cotton. 152	Iron liquor (Pyrolignite
Gutta-percha. 142	of iron.) 190
Gymnogogrus pinuntatas. 134	Iron sulphate
	(Green-vitriol.) 21
H	Isin-glass. 200

Ivory-black. 49	Methenyl chloride.
	(Chloroform.) 150
L	Milk of sulphur. 7
Lac. (Shellac.) 254	Minium. (Oxide of lead) 195
Lead acetate.	Monosodic carbonate.
(Acetate of lead.) 187	(Bi-carbonate of soda) 58
Lead iodide. 109	Monoxide of lead.
Leaf of mito. 211	(Oxide of lead.) 195
Lever of sulphur. 62	Mortar. 14
Lime. (Quic-lime.) 12	Muriatic acid. 240
Lime-ston. 9-131	
Lime-water. 12	N
Linseed oil. 173	Nankin-varnish. 87
Litharge (Oxide of lead) 195	Native anhydrous gyp-
Litharge-oil. 196	sum. 103
	Native precipitated sulphur. 206
M	Nickel sulphate. 72
Malachite. 120	Nitrate of baryta. 262
Manganous chloride. 157	Nitrate of iron. 263
Manganous sulphate. 140	Nitrate of potassium.
Marble. 132	(Salt-petre.) 269
Mastic. 147	Nitrate of silver. 265
Massticot. (Oxide of lead) 195	Nitrate of strontia. 267
Mercury. 283	

Nitre (Salt-petre.) 269
 Nitric acid. 258
 Nordhausen sulphuric acid.
 (Fuming sulphuric acid.) 27

O

Occidental-foil. 144
 Oil-varnish. 86
 Oil vitriol.
 (Fuming sulphuric acid.) 27
 Olive oil. 83
 Ordinary phosphate of soda
 (Sodium phosphate.) . 81
 Oxalic acid. 226
 Oxyde of antimony. . . 199
 Oxyde of chromium. . . 197
 Oxyde of cobalt. . . . 198
 Oxyde of lead. 195

P

Paraffine. 30
 Peroxide of manganese. 139
 Phosphate of soda.
 (Sodium phosphate.) . 81

Phosphorus. 76
 Pitch. 56
 Pine-resin. 145
 Plant albumen. 111
 Plaster of paris.

(Burnt gypgum.) . . . 102

Plumbago. (Graphite.) . . 164
 Polishing sand. 212
 Potassa. 98
 Potassic alum. 207
 Potassic-tartrate of anti-
 mony. (Tartar emetic.) 53
 Potassium dichromate.
 (Bichromate of potassa.) 60
 Potassium ferricyanide.
 (Red prussiate of pot-
 ash.) 282
 Potassium ferrocyanide.
 (Yellow prussiate of
 potash.) 92

Potassium hydroxid.
 (Caustic potash). . . . 98
 Potassium iodide.
 (Iodide of potassium.) 108

Potato-starch. 28
 Powder of ston. 15
 Precipitate carbonate of
 lime. 133
 Propenyl alcohol.
 (Glycerin.) 637
 Protosulphote of iron.
 (Green-vitriol.) 21
 Prussian blue. 94
 Pumice. 149
 Pure caoutchauc. 18
 Pure carbonate of soda. 127
 Pure muriatic acid. . . . 242
 Pure nitric acid. 260
 Pyroligneous acid. . . . 184
 Pyrolignite of iron. . . . 190

Q

Quic-lime. 8-12
 Quicksilver. (Mercury) . 283

R

Red liguor.
 (Acetate of aluminium). 125

Red oxide of copper. . . 281
 Red prussiate of potash. 282
 Roht oil. 25
 Roll sulphur. 6

S

Sal-ammoniac. 50
 Sal-volatile.
 (Carbonate of ammo-
 nia.) 129
 Salicylic acid. 179
 Salt-carke.
 (Sodium sulphate.) . . 73
 Salt-petre. 269
 Salt of hartshorn.
 (Carbonate of ammonia.) 129
 Salt of mars.
 (Green-vitriol.) 21

Sandrac. 193
 Sandrac-varnish. 194
 Scheel's-green. 116
 Senegal-gum. 255
 Serum albumen. 113
 Sesame-oil. 165

全明治二十七年八月十二日印刷
全明治二十九年六月廿八日發行
全明治二十九年六月廿八日發行
第壹版
第貳版

定價金八拾五錢

東京市淺草區瓦町二十八番地

編纂者 小泉榮次郎

東京市日本橋區馬喰町二丁目五番地

發行者 島村利助

東京市日本橋區藥研堀町三十三番地

印刷者 仁科衛

東京市日本橋區馬喰町二丁目五番地

發兌書肆 英蘭堂書店

東京市本郷區春木町三丁目一番地

全 英蘭堂支店

東京市日本橋區藥研堀町三十三番地

印刷所 厚信舍

版權所有

賣 捌 書 林

東京市日本橋區通三丁目	丸善株式會社
東京市本郷區湯島龍岡町	吐鳳堂書店
東京市本郷區湯島切通坂町	南江堂書店
東京市本郷區春木町二丁目	半田屋書店
東京市神田區鍛冶町	朝香屋書店
東京市日本橋區通三丁目	林平次郎
大坂市南區心齋橋筋一丁目	松村九兵衛
岡山市石關町	渡邊千代治
熊本市新三丁目	長崎次郎
長崎市引地町	安中朋太郎
富山市四十物町	中田書店
羽前鶴岡五日町	小池藤治郎

東京工業學校卒業生小泉榮次郎編纂

實用色素新説

色素ハ工業上缺クベカラサル要品ニシテ近時工業ノ隆盛ニ赴クニ隨ヒ該品ノ需用益々其多キヲ加ヘ且ツ日ニ新色素ヲ輸入ス然ルニ使用者ハ其色素ノ何物タルヲ辨セズ供用スルガ爲メ着色品ヲ損傷シ或ハ人身ニ危害ヲ與フルコトアリ是レ一ハ本邦未ダ色素ニ就キ之ヲ説述シタルノ書ナキニ由ルモノトス依テ編者ハ色素ヲ顔料、天然染料及ヒ人爲染料ノ三章ニ別テ一々其異名、産地、製法、性状、成分、應用等ヲ泰西ノ専門書及ヒ諸家ノ隨筆等ニ據リ詳細ニ編纂セラレタルモノナレバ工業家ハ勿論色素取扱者ニハ須臾モ缺クベカラサル尤モ有益ノ良書ナリ

全一册
本綴美裝
正價金四拾五錢
郵税金四錢

藥劑師小泉榮次郎編纂

和漢藥考

全壹冊

定價金七拾錢

郵税金六錢

雲谿筆神農像入 ● 洋裝美本

今ヤ和漢藥ハ大ニ學者ノ傾意スル所トナリ既ニ有爲諸大家カ和漢藥ノ成分及醫治効用等ヲ研究シテ其有効ナルヲ世ニ公ニシ改正日本藥局方亦數種ノ和漢藥ヲ収載シタルハ其興味アルヲ發揚セシ現象ニシテ將來益屬望スベキ者タルニ拘ハラズ之ニ關スル完成ノ書ナク學者ノ遺憾トスル久矣本書ハ纂者ガ四年ノ星霜ヲ積ミ拮据蒐輯セシ者ニシテ和漢藥ニ係ル藥物三百數十種ヲ載セ藥名(漢名)ヲ「いろは」順トシ之ニ異名、和名、羅甸名、若クハ獨英名ヲ附記シ而シテ各藥ノ產地、形狀、成分、採收期、及醫治効用、用量ヲ掲ケ且ツ六十餘箇ノ圖畫ヲ挿入シ以テ參照ノ便ニ供セル等實ニ今日ノ珍書ニシテ温古知新ノ好資料タリ

此學ニ傾意ノ士乞フ一本ヲ購讀アレ

藥劑師 伊藤增太郎 共編
藥劑師 小泉榮次郎

賣藥製劑備考

全一冊

正價金壹圓三十錢

郵税金八錢

洋裝極美 ● 背革金文字入 ● 紙質良好 ● 圖畫精巧

本書 は賣藥を新に調製し或は既成の賣藥を改良するに必要なる好材料なり

本書 は賣藥製劑に關する一般の事項、例之は効能書の記載方、養生法の記述方或は賣藥容益の利害得失并に賣藥配劑方等を精細に記載す

本書 は病名は「いろは」順になし歐米大醫の處方四百有餘種を是れに配置し參考として和漢古今の名方數百方をも附記す

本書 に掲ぐる所の製劑は悉皆現今賣藥規則を標準となしたれば賣藥製劑として一も許可せられざるものなし

本書 は疾病の病理に豫防法、養生法を簡明に記載し且小兒并に老人に對する製劑の用量用方をも記述したれば効能書及び養生書を作るの好伴侶なり

本書 は疾病の異名、方言、和名、洋名、漢名を各病の條下に記し且つ卷末に其索引を附して賣藥營業者の便益に供せり

本書 の卷末には附録として賣藥部外品の製造法及び初めて賣藥規則の發布せられたるより今日に至るまでの該諸法は一も漏さず記載し且つ備考として現行賣藥の名稱數千を「いろは」順を以て記載す

東京工業學校卒業生藥劑師
小泉榮次郎編纂

應用品化學方集

全壹冊

近刊

夫ノ香具師的製法傳授書ノ如キハ論スルニ足ラザ
レモ世ニ化學ヲ應用シテ物品ヲ製造スル方法ヲ記
載シタル書籍ハ何レモ歐米ノ原著書ヲ翻譯シタル
モノナレバ之ヲ繙キ實際ニ試ムルモ往々所説ト齟
齬シ爲メニ勞力財貨ヲ徒費スルコト少カラズ是レ
歐米各國ハ工業技術ノ發達進歩シタルト之カ機械
ヲ利用シ物品ヲ製造スルノ地ナレバ其製造書ヲ以
テ直チニ本邦ノ如キ未タ工業技術ノ幼稚ナルト機
械ノ準備セサル國ニ適用シ之ガ製造ヲ遂ケント欲
スルガ爲メナリ
本書ハ此弊ナカラシメンガ爲メ實用ヲ主トシ本邦
工業發達ノ程度ヲ鑑ミ在來ヨリ施行スル製造法ニ
基キ之カ工業化學ノ妙用ヲ明ニシ且ツ泰西ノ製造
法中特ニ我國ニ適スルモノハ悉皆聚集シ餘スコト
ナク編纂シタル製造書ナレバ所載ノ製造法一トシ
テ實際ニ應用シ得サルハナシ

本書概略目

- 礦物製品
金、銀、銅、鐵、鉛、錫、安質母尼、石油、石蠟、木炭、
石炭瓦斯、硫黃
- 植物製品
蠟、砂糖、漆、樟腦、薄荷腦、紅、青藍、油煙、油類
- 動物製品
革、膠、脂肪、魚油、蜂蜜
- 土質類製品
石灰、石膏、陶器、七寶燒、玻璃、煉瓦、セメント、
漆喰、瓦、珠璣質
- 金屬製品
合金、鐵、アマルガム、色付、煉シ
- 發火製品
煙火、摺附木、爆裂藥、蠟燭
- 感光製品
寫眞、晒布
- 漂白製品
綿布、絹、毛、苧
- 裝飾用製品
ペンキ、鍍金、擬寶石、假漆、造、靴塗
- 印刷用製品
石版、印刷インキ、印肉、蒟蒻板、銅版、亞鉛版
- 彩色用製品
繪の具、水彩繪の具、油繪の具
- 教育用製品
白墨、鉛筆、墨、墨汁、インキ、朱墨
- 纖維製品
紙、セルロイド、火綿
- 化粧用製品
香水、香油、白粉、齒磨粉、石鹼、護謨櫛、鏡
- 飲料製品
清酒、麥酒、醬油、燒酒、亞爾爾保兒、酢
- 厨用製品
製氷、食鹽、醬油、味噌
- 玩弄物製品
熔出シ、蛇玉
- 雜用製品
防火水、防臭劑

豫告

小泉榮次郎編輯

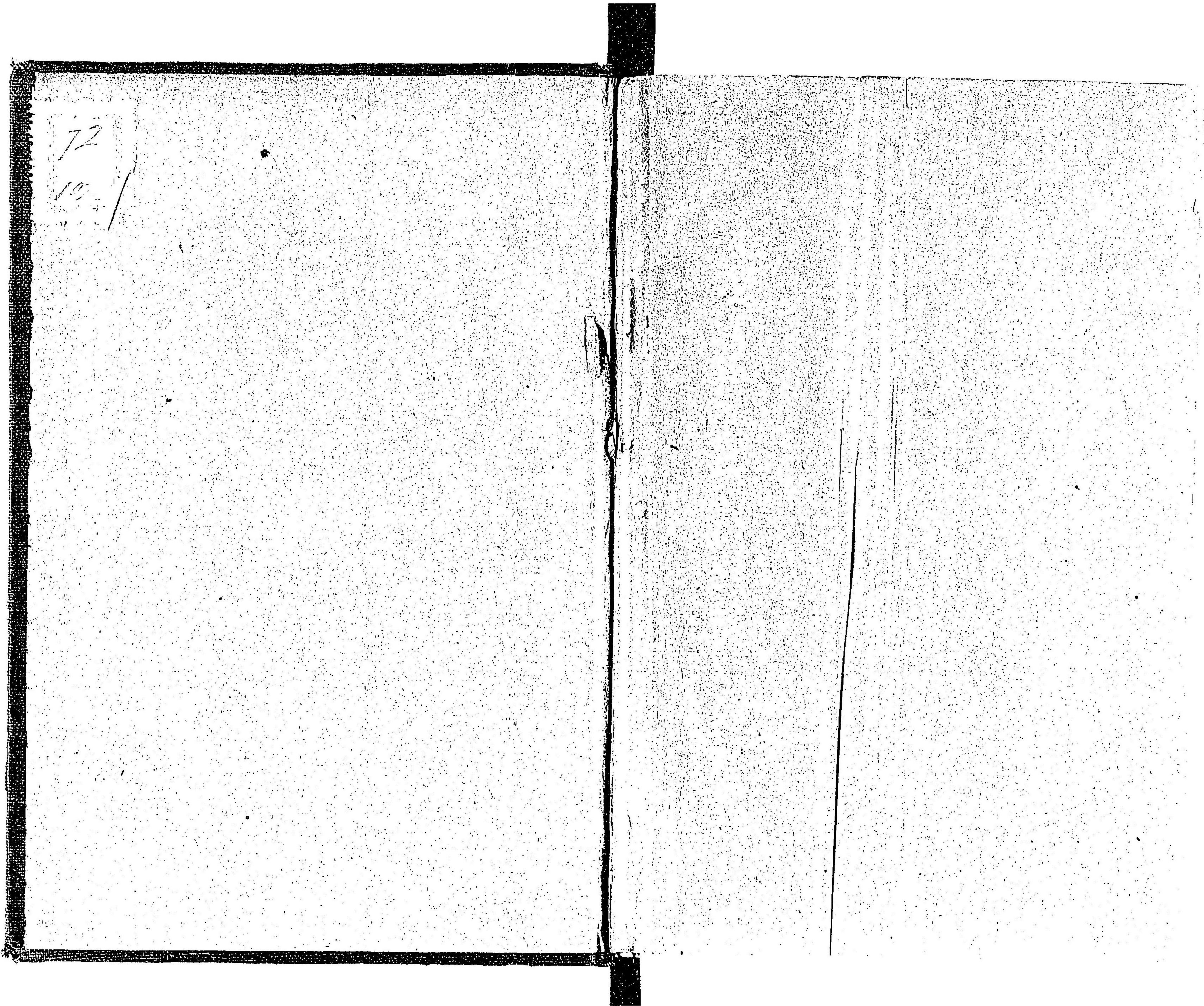
和漢洋藥名字典

全貳冊

(上卷) 和漢藥名之部

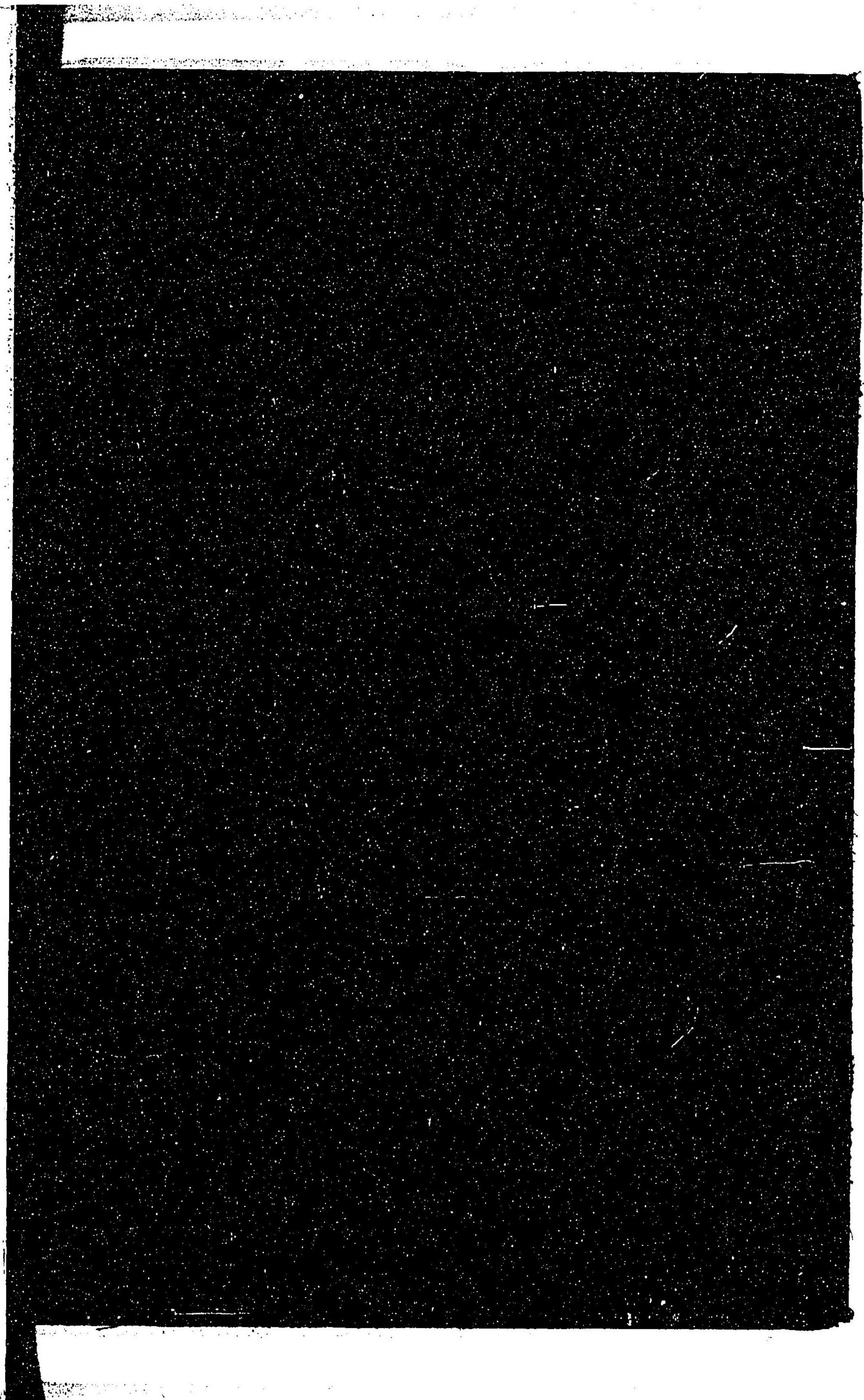
(下卷) 洋藥名之部

本書ハ太古ヨリ現時ニ至ルマテノ醫用并工藝技術ニ應用スル和漢洋藥品ノ名稱ヲ泰西ノ字典ニ倣ヒ「I、R、O、H」順及ヒ「A、B、C」ノ順ヲ以テ逐次編集シタル字典ニシテ其藥名ノ和名、漢名、洋名、異名、譯名、方言、俗稱、略名、通名、轉訛名、同方名、配劑名、等一モ漏スコトナク其數十萬有餘ヲ和漢ノ古書及ヒ近代書籍ハ勿論泰西ノ專門書ニ記載スル處ノ藥名ヲ悉皆聚集シテ之ニ解釋ヲ附シ精緻ノ圖畫ヲ加ヘ編輯セラレタル一大寶典ナレバ醫家藥業家、衛生家、并ニ藥品取扱者ノ座右ニハ缺クベカラカル珍書ナリ依テ出版ノ上ハ陸續御購求アラシムコトヲ



72

19



067513-000-9

72-102口

工業薬全書 (訂補2版)

小泉 栄次郎 / 編

M29.6

CDI-0084

